

12月7日(火)

※本プログラムの演題名・氏名・所属の表記は、ご自身による表記を優先いたしましたが、統一のため多少変更を加えた部分があります。

※本プログラムは2021年10月31日時点の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、座長または演者が変更になる場合があります。

招請講演 1

12月7日(火) 10:25~11:05 第1会場

座長：小島 祥敬 (福島県立医科大学)

IL1 データヘルス改革と泌尿器科の Cross Point～医療情報システム標準化に備える

宮田 裕章 Hiroaki Miyata (慶應義塾大学医療政策・管理学教室)

会長講演

12月7日(火) 11:20~11:45 第1会場

座長：野々村 祝夫 (大阪大学)

PL 泌尿器科の世界観—比類なき専門性と多様性—

大家 基嗣 Mototsugu Oya (慶應義塾大学)

世界観講演 1

12月7日(火) 13:15~14:10 第1会場

座長：永井 敦 (川崎医科大学)

WIL1 M式・美術鑑賞術～まちがっていても、おもしろければよい～

森村 泰昌 Yasumasa Morimura (現代美術家)

招請講演 2

12月7日(火) 15:00~15:40 第1会場

座長：深貝 隆志 (昭和大学)

IL2 医薬品臨床評価と投薬最適化のための新しいサイエンス

谷川原 祐介 Yusuke Tanigawara (慶應義塾大学駒場先端研究教育連携スクエアファーマコメトリクス・システム薬理学研究室)

招請講演 3

12月7日(火) 16:30~17:10 第1会場

座長：西山 博之 (筑波大学)

IL3 人工知能（AI）とビッグデータを攻略する

喜連川 優 Masaru Kitsuregawa (国立情報学研究所/東京大学)

教育講演 1

12月7日(火) 9:40~10:05 第2会場

座長：小川 良雄 (昭和大学)

EL1 泌尿器がんの最新画像診断

陣崎 雅弘 Masahiro Jinzaki (慶應義塾大学放射線科)

ワークショップ 1

12月7日(火) 10:10~11:05 第2会場

◆ いまさら聞けない泌尿器病理の超基本

座長：神波 大己 (熊本大学)・伊藤 敬一 (防衛医科大学校)

WS1-1 泌尿器科医に知って欲しい尿路上皮癌の病理診断の実

村田 晋一 Shin-ichi Murata (和歌山県立医科大学人体病理学教室/病理診断科)

WS1-2 いまさら聞けない泌尿器病理の超基本—前立腺癌—

鷹橋 浩幸 Hiroyuki Takahashi (東京慈恵会医科大学病理部)

WS1-3 腎腫瘍の病理診断の基本と腎癌取扱い規約第5版の改訂ポイント

三上 修治 Shuji Mikami (独立行政法人国立病院機構埼玉病院病理診断科/慶應義塾大学医学部病理学教室)

海外招請講演 (Invited Lecture) 1

December 7(Tue.), 13:15~13:40, Room2

Chair : Yoshiyuki Kakehi (Department of Urology, Kagawa University Faculty of Medicine)

OIL1 Active surveillance for early prostate cancer : Up-date

Chris H. Bangma (Erasmus MC, the Netherlands)

シンポジウム 1

12月7日(火) 13:45~14:55 第2会場

- ◆ 低リスク前立腺癌には手術？いや監視療法？徹底討論：Pros and Cons

座長：原 勲（和歌山県立医科大学）・武中 篤（鳥取大学）

SY1-1 低リスク前立腺癌に対する手術療法 Pros and Cons

雑賀 隆史 Takashi Saika（愛媛大学）

SY1-2 低リスク前立腺がんに対する凍結療法の Pros and Cons

三木 健太 Kenta Miki（東京慈恵会医科大学）

SY1-3 低リスク前立腺癌に対する放射線療法の Pros and Cons

飯塚 淳平 Junpei Iizuka（東京女子医科大学）

SY1-4 監視療法は低リスク前立腺癌患者と医療経済にやさしい治療選択肢である

加藤 琢磨 Takuma Kato（香川大学）

海外招請講演 (Invited Lecture) 2

December 7(Tue.), 15:00~15:25, Room2

Chair : Hideaki Miyake (Hamamatsu University School of Medicine)

OIL2 Neoadjuvant treatment for high-risk prostate cancer

Martin E. Gleave (Vancouver Prostate Centre, Canada)

教育講演 2

12月7日(火) 15:30~16:10 第2会場

座長：賀本 敏行（宮崎大学）

EL2-1 前立腺がんの手術療法と放射線治療の未来予想 7年後には

木下 秀文 Hidefumi Kinoshita（関西医大病院）

EL2-2 進行前立腺癌に対する薬物療法の現況と展望

三宅 秀明 Hideaki Miyake（浜松医科大学）

シンポジウム 2

12月7日(火) 16:15~17:25 第2会場

- ◆ mHSPC の upfront 治療は「あざなえる縄のごとし」か？

座長：川上 理（埼玉医科大学総合医療センター）・溝上 敦（金沢大学）

SY2-1 mHSPC に対する Upfront 治療の意義

成田 伸太郎 Shintarou Narita（秋田大学）

SY2-2 upfront 化学療法を行うべき患者像とは

寺田 直樹 Naoki Terada（宮崎大学）

SY2-3 大阪医科大学関連施設におけるホルモン感受性転移性前立腺癌 upfront 症例の治療成績

上原 博史 Hirofumi Uehara（大阪医科大学）

SY2-4 『upfront 治療のアンメットニーズ』を考える

加藤 真史 Masashi Kato（名古屋大学）

教育講演 3

12月7日(火) 9:40~10:05 第3会場

座長：市川 智彦（千葉大学）

EL3 小児から一般泌尿器科医が知っておくべき臨床遺伝学、先天性疾患・遺伝性疾患の知見

小崎 健次郎 Kenjiro Kosaki（慶應義塾大学臨床遺伝学センター）

教育講演 4

12月7日(火) 10:10~10:35 第3会場

座長：宮嶋 哲（東海大学）

EL4 泌尿器科医が知っておくべき腎臓内科の知見

岡田 浩一 Hirokazu Okada（埼玉医科大学腎臓内科）

教育講演 5

12月7日(火) 10:40~11:05 第3会場

座長：吉田 一成（北里大学新世紀医療開発センター）

EL5 腎代替療法選択：SDM (shared decision making) の在り方を考える

柴垣 有吾 Yugo Shibagaki (聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科)

シンポジウム 3

12月7日(火) 13:15~14:10 第3会場

◆ 長期透析患者の腎移植時の評価：外科的、循環器内科的側面

座長：石田 英樹（東京女子医科大学腎臓病医療センター）・内田 潤次（大阪市立大学）

SY3-1 進行した動脈硬化を伴う腎移植レシピエントの術前・術中評価

齋藤 満 Mitsuji Saito (秋田大学)

SY3-2 長期透析患者における腎移植術前の心機能評価

奥見 雅由 Masayoshi Okumi (大阪警察病院)

SY3-3 長期透析を経て腎移植を行う場合の骨・フレイル管理

矢西 正明 Masaaki Yanishi (関西医大)

教育講演 6

12月7日(火) 14:15~14:40 第3会場

座長：宍戸 清一郎（東邦大学）

EL6 腎移植後手術合併症の治療

渡井 至彦 Yoshihiko Watarai (日本赤十字社愛知医療センター/名古屋第二病院腎臓病総合医療センター)

シンポジウム 4

12月7日(火) 14:45~15:55 第3会場

◆ 腎移植における悪性腫瘍とその治療法：自己腎癌、前立腺癌、PTLDなども含めて

座長：中川 健（東京歯科大学市川総合病院）・市丸 直嗣（住友病院腎センター）

SY4-1 腎移植後の悪性腫瘍スクリーニング

森田 伸也 Shinya Morita (慶應義塾大学)

SY4-2 腎移植後の腎癌について

岩見 大基 Daiki Iwami (自治医科大学)

SY4-3 腎移植後の前立腺癌・尿路上皮癌

荒木 元朗 Motoo Araki (岡山大学)

SY4-4 PTLD

石井 大輔 Daisuke Ishii (北里大学)

シンポジウム 5

12月7日(火) 16:00~16:55 第3会場

◆ 明日出会うかもしれない泌尿器科希少癌：そのとき困らないために

座長：宮崎 淳（国際医療福祉大学）・住友 誠（藤田医科大学）

SY5-1 副腎がん

松井 喜之 Yoshiyuki Matsui (国立がん研究センター中央病院)

SY5-2 尿膜管がんの診断治療

米瀬 淳二 Junji Yonese (がん研有明病院)

SY5-3 陰茎癌に遭遇して困らないための陰茎癌診療ガイドライン

神波 大己 Tomomi Kamba (熊本大学)

教育講演 7

12月7日(火) 17:00~17:25 第3会場

座長：中川 徹（帝京大学）

EL7 QOL 重視（高齢者）のがん治療

河嶋 厚成 Atsunari Kawashima (大阪大学)

シンポジウム 6

12月7日(火) 9:40~11:05 第4会場

◆ 尿路結石症診療に役立つ検査の活用法

座長：宮澤 克人（金沢医科大学）・柑本 康夫（和歌山県立医科大学）

SY6-1 CT 画像情報を活用した尿路結石に対する術式選択と手術戦略

山下 真平 Shimpei Yamashita（和歌山県立医科大学）

SY6-2 遺伝子診断の活用法

坂本 信一 Shinichi Sakamoto（千葉大学）

SY6-3 尿路結石症における血液、尿の臨床検査

井上 憲也 Shinya Inoue（金沢医科大学）

SY6-4 結石成分分析の応用

井口 太郎 Taro Iguchi（金沢医科大学）

SY6-5 高シュウ酸尿症の検査

高山 達也 Tatsuya Takayama（芳賀赤十字病院・自治医科大学）

シンポジウム 7

12月7日(火) 13:15~14:25 第4会場

◆ どこが変わる？尿路結石症診療ガイドライン 座長：山口 聰（医療法人仁友会北彩都病院）・井口 太郎（金沢医科大学）

SY7-1 「尿路結石症診療ガイドライン」改訂における要点

宮澤 克人 Katsuhito Miyazawa（金沢医科大学）

SY7-2 診断と初期治療

柑本 康夫 Yasuo Kohjimoto（和歌山県立医科大学）

SY7-3 どこが変わる？尿路結石症診療ガイドライン：積極的治療

眞嶋 拓朗 Takuro Masaki（原三信病院）

SY7-4 どこが変わる？尿路結石症診療ガイドライン：再発予防について

辻畠 正雄 Masao Tsujihata（大阪労災病院）

ワークショップ 2

12月7日(火) 14:30~15:55 第4会場

◆ テクノロジーが変える尿路結石除去術 座長：岡田 淳志（名古屋市立大学）・納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター）

WS2-1 上部尿路結石に対する、3D ワークステーションを使用した術前イメージング

芳生 旭辰 Kyokushin Hou（帝京大学ちば総合医療センター）

WS2-2 腎瘻穿刺におけるテクニックの進化と新たなテクノロジーの開発

濱本 周造 Shuzo Hamamoto（名古屋市立大学）

WS2-3 レーザー碎石装置の進歩でTULはどのように変わらるのか？

松岡 俊光 Toshimitsu Matsuoka（八戸平和病院）

WS2-4 シングルユースとリユースを併用するハイブリッド方式がこれからの尿管鏡手術を変える

高沢 亮治 Ryoji Takazawa（東京都立大塚病院）

WS2-5 細径腎盂鏡を用いた ECIRS

宮原 誠 Makoto Miyahara（狭山市立間川病院）

ワークショップ 3

12月7日(火) 16:00~17:25 第4会場

◆ 分野別基礎・臨床研究の魅力を語る

座長：山本 新吾（兵庫医科大学）・安井 孝周（名古屋市立大学）

WS3-1 結石を溶かす：尿路結石診療のイノベーションを目指して

田口 和己 Kazumi Taguchi（名古屋市立大学）

WS3-2 尿路感染症の臨床研究

和田 耕一郎 Koichiro Wada（島根大学）

WS3-3 泌尿器腫瘍領域における基礎・臨床研究の魅力

小村 和正 Kazumasa Komura（大阪医科大学）

WS3-4 排尿障害研究の魅力

根来 宏光 Hiromitsu Negoro (筑波大学)

WS3-5 未だ目標到達できていない研究としての精子形成研究

小川 毅彦 Takehiko Ogawa (横浜市立大学臓器再生医学)

ワークショップ 4

12月7日(火) 9:40~11:05 第5会場

◆ ED 治療における新しい選択肢

座長：木村 和哲 (名古屋市立大学臨床薬剤学)・中島 耕一 (東邦大学)

WS4-1 幹細胞移植での神経再生

高柳 明夫 Akio Takayanagi (JCHO 北海道病院)

WS4-2 基礎研究から見た ED 治療における陰茎海綿体の線維化抑制について

堀田 祐志 Yuji Hotta (名古屋市立大学薬学研究科病院薬剤学分野)

WS4-3 プレコンセプションケアの立場から、勃起と射精の問題を考える

小堀 善友 Yoshitomo Kobori (プライベートケアクリニック東京)

WS4-4 陰茎プロステーシスの現状

永尾 光一 Kouichi Nagao (東邦大学医療センター大森病院)

WS4-5 前立腺がん患者の cancer survivorship と性機能—米国でのがんサバイバー診療から学ぶこと—

大澤 崇宏 Takahiro Osawa (北海道大学)

教育講演 8

12月7日(火) 13:15~13:40 第5会場

座長：小川 毅彦 (横浜市立大学臓器再生医学)

EL8 精子幹細胞：そのランダムな挙動と移植による妊娠性の回復

吉田 松生 Shosei Yoshida (基礎生物学研究所生殖細胞研究部門)

ワークショップ 5

12月7日(火) 13:45~15:10 第5会場

◆ 無精子症に対する取り組み

座長：市川 智彦 (千葉大学)・辻村 晃 (順天堂大学浦安病院)

WS5-1 無精子症総論 (泌尿器科の役割)

小宮 顯 Akira Komiya (千葉大学)

WS5-2 閉塞性無精子症に対する外科治療～顕微鏡下精路再建のポイント～

白石 晃司 Koji Shiraishi (山口大学)

WS5-3 ゲノム医療時代の男性不妊診療

福原 慎一郎 Shinichiro Fukuhara (大阪大学)

WS5-4 varicocele 合併 NOA に対する戦略

小林 秀行 Hideyuki Kobayashi (東邦大学医療センター大森病院)

WS5-5 AI 時代の無精子症治療

竹島 徹平 Teppei Takeshima (横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター/横浜市立大学大学院データサイエンス研究科)

WS5-6 生殖医療の代替治療 (AID など) に関する倫理的問題、法的問題、現状と課題

～配偶子提供、特に AID を中心として

久慈 直昭 Naoaki Kuji (東京医科大学産科婦人科)

ワークショップ 6

12月7日(火) 15:15~16:25 第5会場

◆ テストステロン補充療法の実際と問題点

座長：藤澤 正人 (神戸大学)・佐藤 嘉一 (三樹会病院)

WS6-1 LOH 症候群の現状と問題点

佐藤 嘉一 Yoshikazu Satou (三樹会病院)

WS6-2 テストステロン補充療法の前立腺、排尿機能への影響

井手 久満 Hisamitsu Ide (獨協医科大学埼玉医療センター)

WS6-3 男性不妊症患者に対して

辻村 晃 Akira Tsujimura (順天堂大学浦安病院)

WS6-4 テストステロン補充療法の実際と問題点：精神症状は本当に改善するか

千葉 公嗣 Koji Chiba (神戸大学)

海外招請講演 (Invited Lecture) 3

December 7(Tue.), 16:30~16:55, Room5

Chair : Masayuki Takeda (Department of Urology, University of Yamanashi, Faculty of Medicine)

OIL3 Penile transplantation : Current status and challenges

Arthur Louis Burnett (Johns Hopkins Medical Institutions, USA)

海外招請講演 (Invited Lecture) 4

December 7(Tue.), 17:00~17:25, Room5

Chair : Tadao Kakizoe (Japan Cancer Society)

OIL4 Updated management for testicular cancer

Peter Albers (University Hospital Dusseldorf, Germany)

シンポジウム 8

12月7日(火) 9:40~11:05 第6会場

◆ 超高齢社会における泌尿器科医の役割：フレイル・サルコペニアと下部尿路機能障害

座長：後藤 百万 (独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院)・鈴木 康之 (東京都リハビリテーション病院)

SY8-1 基調講演：高齢者におけるフレイル・サルコペニアの概念とその臨床上の重要性

葛谷 雅文 Masafumi Kuzuya (名古屋大学地域在宅医療学・老年科学)

SY8-2 下部尿路機能障害とフレイル・サルコペニアの関連性—最新の疫学的知見から—

大前 憲史 Kenji Omae (福島県立医科大学臨床研究教育推進部)

SY8-3 フレイルと下部尿路機能症状～泌尿器科医としての超高齢社会との向き合い方～

馬嶋 剛 Tsuyoshi Majima (愛知医科大学)

SY8-4 下部尿路機能障害治療によるフレイル改善とサルコペニア予防

野宮 正範 Masanori Nomiya (国立長寿医療研究センター)

シンポジウム 9

12月7日(火) 13:15~14:25 第6会場

◆ 前立腺肥大症の個別化薬物治療

座長：舛森 直哉 (札幌医科大学)・小島 祥敬 (福島県立医科大学)

SY9-1 基礎研究と臨床研究の観点からみた LUTS/BPH の病態の個別化

三井 貴彦 Takahiko Mitsui (山梨大学)

SY9-2 α 1受容体サブタイプによる前立腺肥大症の個別化診断

秦 淳也 Junya Hata (福島県立医科大学)

SY9-3 前立腺肥大症の個別化薬物治療

福多 史昌 Fumimasa Fukuta (製鉄記念室蘭病院)

海外招請講演 (Invited Lecture) 5

December 7(Tue.), 14:30~14:55, Room6

Chair : Yutaro Hayashi (Department of Pediatric Urology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

OIL5 Primary obstructive megaureter : A contemporary approach

Aseem R. Shukla (Children's Hospital of Philadelphia, USA)

海外招請講演 (Invited Lecture) 6

December 7(Tue.), 15:00~15:25, Room6

Chair : Mitsuru Noguchi (Department of Urology, Saga University Faculty of Medicine)

OIL6 Reconstructive surgery in the lower urinary tract in children

Mark Patrick Cain (University of Washington, USA/Seattle Children's Hospital, USA)

教育講演 9

12月7日(火) 15:30~15:55 第6会場

座長：宋 成浩（獨協医科大学埼玉医療センター）

EL9 陰囊・陰茎疾患

林 祐太郎 Yutaro Hayashi (名古屋市立大学)

シンポジウム 10

12月7日(火) 16:00~17:25 第6会場

◆ 精巣発育不全症候群 (testicular dysgenesis syndrome) に対する泌尿器科医の役割

座長：浅沼 宏（慶應義塾大学）・水野 健太郎（名古屋市立大学）

SY10-1 Testicular dysgenesis syndrome の診断アプローチ

春名 晶子 Akiko Haruna (兵庫県立こども病院)

SY10-2 Testicular dysgenesis syndrome (TDS) に対する泌尿器科医の役割—外科的治療において—

石井 啓一 Keiichi Ishii (大阪市立総合医療センター)

SY10-3 発癌との関連

東武 昇平 Shohei Tobu (佐賀大学)

SY10-4 精巣発育不全症候群における妊娠性に対する泌尿器科医の役割

西尾 英紀 Hidenori Nishio (名古屋市立大学)

SY10-5 遺伝子レベルからみた尿道下裂との関係

胡口 智之 Tomoyuki Koguchi (福島県立医科大学)

総会賞ビデオ 01

12月7日(火) 9:10~11:05 第7会場

◆ 副腎・腎・尿管・他

座長：白木 良一（藤田医科大学）

AVP01-01 仮想腎孟モデルにおけるホルミウムレーザー照射時の Thermal Injury に関する温度動態研究—in vitro study—

山下 真平 Shimpei Yamashita (和歌山県立医科大学)

AVP01-02 ECRIS 施行時に軟性尿管鏡抜去困難となった 1 例

岡田 真介 Shinsuke Okada (行徳総合病院/SMART study group)

AVP01-03 折鶴作成による腹腔鏡手術トレーニングの確立

野田 祐介 Yusuke Noda (JA 愛知厚生連豊田厚生病院)

AVP01-04 アルドステロン産生腺腫に対する reduced port surgery による副腎温存手術

武田 利和 Toshihiko Takeda (慶應義塾大学)

AVP01-05 馬蹄腎生体腎移植ドナーから graft を Hand-assisted Laparoscopic Nephrectomy にて摘出した 1 例

斎藤 允孝 Yoshitaka Saitou (近畿大学)

AVP01-06 腹腔鏡による口腔粘膜を用いた腎孟形成術の一例

清水 伸彦 Nobuhiko Shimizu (帝京大学ちば総合医療センター/安城更生病院)

AVP01-07 気膀胱 Politano-Leadbetter の術式変遷—より簡単に、より長い粘膜下トンネルを—

坂本 哲 Wataru Sakamoto (香芝生喜病院)

AVP01-08 高度尿道下裂に対する BELT-FUQUA 変法「振り袖フラップ法」66 例の成績

山崎 雄一郎 Yuuichirou Yamazaki (神奈川県立こども医療センター)

AVP01-09 恥骨切除におけるハイスピードエアドリルの有用性～骨盤骨折による後部尿道外傷に対する尿道形成術での試み～

新地 祐介 Masayuki Shinchi (西埼玉中央病院/防衛医科大学校)

AVP01-10 人工知能を用いたロボット支援透視ガイド ECIRS の開発と従来の超音波ガイドとの治療成績の比較：国際共同-特定臨床研究

田口 和己 Kazumi Taguchi (名古屋市立大学)

シンポジウム 11

◆ COVID-19：これまでを振り返る

12月7日(火) 13:15~14:25 第7会場

座長：山本 新吾（兵庫医科大学）・松本 一宏（慶應義塾大学）

SY11-1 新型コロナウイルス感染症の現状と展望

四柳 宏 Hiroshi Yotsuyanagi（東京大学感染症分野）

SY11-2 呼吸器専門医が見た COVID-19～多施設共同研究から見えてきたこと～

石井 誠 Makoto Ishii（慶應義塾大学呼吸器内科）

SY11-3 COVID-19 禍における泌尿器腫瘍の診療

上村 博司 Hiroji Uemura（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

SY11-4 透析専門医が見た COVID-19

菊地 勘 Kan Kikuchi（医療法人社団豊済会下落合クリニック腎臓内科・透析内科）

ワークショップ 7

12月7日(火) 14:40~15:50 第7会場

◆ 尿路性器感染症：こんなとき、あなたならどうする？

座長：石川 清仁（藤田医科大学病院医療の質・安全対策部感染対策室）・高橋 聰（札幌医科大学感染制御・臨床検査医学）

WS7-1 フルニ工壊疽

亀井 潤 Jun Kamei（自治医科大学）

WS7-2 気腫性腎孟腎炎

桧山 佳樹 Yoshiaki Hiyama（函館五稜郭病院）

WS7-3 膽腎症

松本 正広 Masahiro Matsumoto（産業医科大学）

WS7-4 前立腺膿瘍

東郷 容和 Yoshikazu Togo（医療法人協和会協立病院）

シンポジウム 12

12月7日(火) 16:05~17:25 第7会場

◆ ウロロジストの虎の穴：令和時代にいかにして泌尿器科医を増やすか

座長：篠島 利明（埼玉医科大学）・稻元 輝生（大阪医科大学）

SY12-1 私立大学における研修医勧誘の“How to”とは？

小池 祐介 Yusuke Koike（東京慈恵会医科大学）

SY12-2 神戸大学医学部泌尿器科での研修医入局にむけての取り組み

中野 雄造 Yuzo Nakano（神戸大学）

SY12-3 いかに研修医を勧誘するか～愛媛大学泌尿器科の現状～

宮内 勇貴 Yuuki Miyauchi（愛媛大学）

SY12-4 亀田総合病院泌尿器科における医師確保の取り組みと現状

藤川 正弘 Masahiro Fujikawa（亀田総合病院）

SY12-5 西 江里子 Eriko Nishi（東京慈恵会医科大学）**SY12-6 田代 裕己 Yuki Tashiro（神戸大学）****SY12-7 船木 慶佑 Keisuke Funaki（愛媛大学）****SY12-8 深貝 隆太郎 Ryutaro Fukagai（亀田総合病院）****総会賞ビデオ 02**

12月7日(火) 9:10~11:05 第8会場

◆ 膀胱・前立腺

座長：岩村 正嗣（北里大学）

AVP02-01 なぜ男性は立位の方が臥位よりも排尿しやすいのか—MRI動画を用いた解析—

嶋谷 公宏 Kimihiro Shimatani（兵庫医科大学）

AVP02-02 血管解剖に基づいた新しい HoLEP 止血コンセプトの臨床的效果

遠藤 文康 Fumiyasu Endo（聖路加国際病院）

AVP02-03 巨大前立腺肥大症に対する手術療法のブレイクスルー：XCAVATOR fiber を用いた CVP (X-CVP)

宮内 聰秀 Toshihide Miyauchi (大分泌尿器科病院)

AVP02-04 核磁気共鳴画像の3次元モデルによる前立腺癌被膜外浸潤予測に関する検討

小川 貴博 Takahiro Ogawa (東海大学)

AVP02-05 Microwave を用いた前立腺癌局所治療

佃 文夫 Fumio Tsukuda (江戸川病院)

AVP02-06 傾向スコアマッチによるレチウス温存法と従来法のロボット前立腺全摘後早期尿禁制比較および cine-MRI を用いた尿禁制メカニズムの検討

角野 佳史 Yoshifumi Kadono (金沢大学泌尿器集学的治療学)

AVP02-07 ロボット支援前立腺全摘除術に対する Advanced Reconstruction of Vesicourethral Support (ARVUS) の術後早期尿禁制への影響

木村 有佑 Yusuke Kimura (鳥取大学)

AVP02-08 内鼠経ヘルニアを合併した前立腺癌に対して IPTR (iliopubic tract repair) により一期的にヘルニア修復した RARP の一例

澤田 陽平 Yohei Sawada (行田総合病院)

AVP02-09 NBI 膀胱内視鏡画像における人工知能 tiny-YOLO による腫瘍検出—リアルタイム診断支援システムを目指して—

牟田口 淳 Jun Mutaguchi (九州大学/九州大学病院)

AVP02-10 全国的な普及を目指した体腔内回腸導管造設術の標準化—施設、ロボットバージョンを問わずに施行可能な術式の確立—

全並 賢二 Kenji Zennami (藤田医科大学)

一般口演 01

12月7日(火) 14:20~15:05 第8会場

座長：常森 寛行 (香川大学)

◆ 前立腺肥大症/基礎・診断・薬物療法**OP01-01 前立腺肥大モデルマウスにおける前立腺体積と膀胱排尿筋の変化に対する検討**

梁 英敏 Youngmin Yang (神戸大学)

OP01-02 前立腺肥大症における PDE5 阻害剤の服薬継続率に関する検討

梶川 圭史 Keishi Kajikawa (愛知医科大学)

OP01-03 尿流動態検査を用いた男性患者の排尿後尿滴下に影響を与える因子の検討

橋本 士 Mamoru Hashimoto (近畿大学)

OP01-04 前立腺肥大症に伴う蓄尿症状軽減効果に関するタダラフィルとシロドシンの比較 (RESTORE 試験)

鳥本 一匡 Kazumasa Torimoto (奈良県立医科大学/平尾病院/高清会高井病院)

OP01-05 β 3受容体作動薬抵抗性の男性夜間頻尿患者に対する低用量デスマプレシンは安全で有用である

梶原 充 Mitsuji Kajiwara (県立広島病院)

一般口演 02

12月7日(火) 15:10~16:15 第8会場

◆ 前立腺肥大症/手術 1

座長：宮内 聰秀 (大分泌尿器科病院)

OP02-01 外来手術における経尿道的レーザー蒸散術 (CVP) の経済学

鶴 信雄 Nobuo Tsuru (鶴泌尿器科クリニック)

OP02-02 Twister レーザーファイバーを用いた第一世代 CVP の手術成績

河野 義之 Yoshiyuki Kawano (恵佑会札幌病院)

OP02-03 XCAVATOR を用いた CVP の初期 10 例の治療経験について

小川 雄一郎 Yuichiro Ogawa (小林病院)

OP02-04 CeralasHPD レーザー装置による接触式前立腺蒸散術の安全性の検討

野村 真理 Mari Nomura (仁穂会病院臨床工学部)

OP02-05 光選択的前立腺レーザー蒸散術（PVP）周術期合併症の術前予測における Charlson comorbidity index (CCI) の有用性

篠木 理沙 Risa Shinoki (国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院)

OP02-06 前立腺肥大症に対する 180wXPS-PVP の治療効果の検討

桑原 勝孝 Yoshitaka Kuwahara (長久保病院)

OP02-07 100ml 以上の巨大前立腺肥大症に対する 180W-XPS を用いた PVP の治療成績

渡邊 麻里 Mari Watanabe (名古屋セントラル病院)

一般口演 03

12月7日(火) 16:20~17:25 第8会場

◆ 前立腺肥大症/手術 2

座長：野村 博之 (福岡山王病院)

OP03-01 ツリウムレーザー前立腺蒸散術 (ThuVAP : Thulium vaporization prostate) と光選択的前立腺蒸散術 (HPS-PVP) の蒸散効率に関する検討

篠原 雅岳 Masatake Shinohara (大阪暁明館病院)

OP03-02 三重県立総合医療センターにおける ThuVAP (ツリウムレーザー前立腺蒸散術) の初期治療経験

渡邊 晋 Susumu Watanabe (三重県立総合医療センター)

OP03-03 当院にて施行された HOLEP572 例の分析と逆順行性 enbloc HOLEP の優位性

東 慧 Satosi Azuma (東京腎泌尿器センター大和病院)

OP03-04 術前膀胱機能が HOLEP 術後排便機能に与える影響について

引田 克弥 Katsuya Hikita (鳥取大学)

OP03-05 80 歳以上の高齢者に対する TUEB の治療成績

田口 真 Makoto Taguchi (済生会泉尾病院)

OP03-06 安全確実な BPH 手術のための工夫 (26 年間の日帰り手術の経験から)

三谷 比呂士 Hiroshi Mitani (ミタニひ尿器科)

OP03-07 経尿道的前立腺肥大症手術に合併した尿道狭窄に対する尿道形成術の有効性

八木 宏太 Kota Yagi (防衛医科大学校)

総会賞ポスター 01

12月7日(火) 9:10~10:05 第9会場

◆ アンドロロジー・不妊・性機能

座長：辻村 晃 (順天堂大学浦安病院)

AOP01-01 ヒト精祖細胞の単一細胞トランスクリプトーム解析と精巣内内分泌環境の関連

白石 晃司 Kouji Shiraishi (山口大学)

AOP01-02 Three-dimensional analysis of age-related changes in mouse testis

中野 泰斗 Taito Nakano (金沢大学)

AOP01-03 臓器培養条件下でのマウス精子形成誘導に対する抗酸化ビタミンとリゾリン脂質の重要性

三條 博之 Hiroyuki Sanjo (横浜市立大学)

AOP01-04 齧髄由来幹細胞培養上清エクソソームによる造精機能改善の検討

古賀 祥嗣 Shouji Koga (社会福祉法人仁生社江戸川病院)

AOP01-05 Micro-TESE への応用を目指した精細管の深部組織イメージング

武田 知樹 Tomoki Takeda (名古屋徳洲会総合病院)

AOP01-06 精子 DNA 断片化指数による生殖補助技術の選択に関する検討

岡田 弘 Hiroshi Okada (獨協医科大学埼玉医療センター)

AOP01-07 新規マーカーを用いた移行部セルトリの発生と生物学的機能解析

横西 哲広 Tetsuhiro Yokonishi (川崎医科大学解剖学/デューク大学)

AOP01-08 画像認識 AI による Johnsen score の自動判別モデルの構築

小林 秀行 Hideyuki Kobayashi (東邦大学医療センター大森病院)

AOP01-09 陰茎超音波エラストグラフィを用いた勃起現象の他覚的評価

坂元 史稔 Fumitoshi Sakamoto (中部労災病院)

AOP01-10 精巣がんサバイバーの妊娠性と QOL

山下 慎一 Shinichi Yamashita (東北大学)

総会賞ポスター 02

12月7日(火) 10:10~11:05 第9会場

◆ 小児泌尿器科・他

座長：野口 満 (佐賀大学)

AOP02-01 幼少期の両側停留精巣において血清 INHB/FSH 比と AMH/FSH 比の低下は精子幹細胞数の減少を予測する

加藤 大貴 Taiki Kato (名古屋市立大学東部医療センター)

AOP02-02 停留精巣における造精機能障害・悪性化の原因遺伝子の探索～ヒト停留精巣組織を用いた Ingenuity Pathway Analysis による解析～

西尾 英紀 Hidenori Nishio (名古屋市立大学)

AOP02-03 数値流体解析と離散要素法を用いて腎杯・腎盂内での微小結石の挙動を可視化するシミュレーションシステムの開発

古目谷 暢 Mitsuji Komeya (独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土谷中央病院/横浜市立大学)

AOP02-04 マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群及びエーラス・ダンロス症候群患者の排尿と性機能に関する研究

松尾 かずな Kazuna Matuo (名古屋大学)

AOP02-05 薬剤誘発間質性膀胱炎様動物モデルにおける人 Muse 細胞膀胱壁内移植が膀胱の炎症、機能、疼痛へ及ぼす影響

古田 昭 Akira Furuta (東京慈恵会医科大学)

AOP02-06 CT による前立腺癌患者 bone health の評価

佐藤 元孝 Mototaka Sato (市立豊中病院)

AOP02-07 進行泌尿器悪性腫瘍患者における血清プロカルシトニン測定の有効性に関する前向き研究

八重樫 洋 Hiroshi Yaegashi (金沢大学泌尿器集学的治療学)

AOP02-08 進行性泌尿器癌における血液循環腫瘍 DNA ゲノムプロファイル—SCRUM-Japan MONSTAR SCREEN プロジェクト—

塩田 真己 Masaki Shiota (九州大学)

AOP02-09 泌尿器科学術領域におけるダイバーシティ推進 泌尿器科紀要掲載論文 65 年間・1 万編の解析

小林 恭 Takashi Kobayashi (京都大学)

AOP02-10 機械学習を利用した鉗子動態特徴量に基づく腹腔鏡手術基本手技の技量評価

安部 崇重 Takahige Abe (北海道大学)

保険教育プログラム

12月7日(火) 14:40~15:40 第9会場

座長：富士 幸蔵 (昭和大学横浜市北部病院)

保険教育 目からうろこの泌尿器科保険診療のポイント

～社保・国保審査改革と令和 4 年度診療報酬改定へ向けて～

斎藤 忠則 Tadanori Saitoh (医療法人伯鳳会東京曳舟病院)

「NCD 手術症例登録」に関する説明会

12月7日(火) 16:35~17:35 第9会場

座長：賀本 敏行 (宮崎大学)

1 第 35 回日本泌尿器内視鏡学会総会 NCD シンポジウムより

畠山 真吾 Singo Hatakeyama (弘前大学先進血液浄化療法学講座)

2 精巣腫瘍 CRF 症例登録開始について

神波 大己 Tomomi Kamba (熊本大学)

International Session Award 01

December 7(Tue.), 9:10~10:05, Room10

◆ Stones, lower urinary tract dysfunction

Chairs : Satoshi Takahashi (Department of Infection Control and Laboratory Medicine, Sapporo Medical University School of Medicine)
 Noritoshi Sekido (Department of Urology, Toho University Ohashi Medical Center)

ISA01-01 Usefulness of virtual reality simulation of renal puncture for endoscopic-combined intrarenal surgery

Atsushi Okada (Department of Nephro-urology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

ISA01-02 Not only exon but intron mutation determine the genotype of Japanese Cystinuria : analysis by next generation sequence.

Shinichi Sakamoto (Urology, Chiba University Graduate School of Medicine)

ISA01-03 The impact of preoperative percutaneous nephrostomy as a treatment strategy before flexible ureteroscopy for impacted ureteral stones

Go Anan (Urology, Tohoku Medical and Pharmaceutical University)

ISA01-04 The lumbosacral angle is a significant predictor for using a semi-rigid ureteroscopic approach in middle ureteral stones

Hideto Ueki (Urology, Kobe University Hospital)

ISA01-05 Ureteroscopy-assisted puncture for ultrasound-guided renal access significantly improves overall treatment outcomes in endoscopic combined intrarenal surgery

Kazumi Taguchi (Nephro-urology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

ISA01-06 MiniPCNL in Large Renal Calculi : A Cost Effective and Feasible Alternative

Anil Kumar Sanwal (Urology, Sanwal Hospital & Betwa Stone Clinic, India)

ISA01-07 Morphological change and characteristics of myofibroblast in growth process of benign prostatic hyperplasia

Akihisa Hasegawa (Fukushima Medical University)

ISA01-08 The Firmicutes/Bacteroidetes ratio of the gut microbiota is associated with prostate enlargement

Kentaro Takezawa (Department of Urology, Osaka University Graduate School of Medicine)

ISA01-09 Urothelial barrier dysfunction causes lower urinary tract dysfunction associated with chronic ischemia

Hidenori Akaihata (Department of Urology, Jusendo General Hospital)

ISA01-10 Effects of intravesical therapy with liposome-conjugated nerve growth factor (NGF) antisense on bladder hypersensitivity in rats with water avoidance stress

Tetsuichi Saito (Department of Urology, Shinshu University School of Medicine/Department of Urology, University of Pittsburgh)

ISA01-11 Autoimmunity to urothelial antigen causes bladder inflammation, pelvic pain and voiding dysfunction : a novel animal model for Hunner type interstitial cystitis

Yoshiyuki Akiyama (Department of Urology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo/Department of Urology, University of Iowa, USA)

International Session Award 02

December 7(Tue.), 10:10~11:10, Room10

◆ Pediatric, adrenals, infertility, others

Chairs : Hidehiro Kakizaki (Department of Renal and Urologic Surgery, Asahikawa Medical University)
 Akihiro Kawauchi (Shiga University of Medical Science)

ISA02-01 The benefits of Indocyanine Green (ICG) fluorescence in guidance of Robotic-assisted Adrenalectomy

Pin-chun Liu (Division of Urology, Department of Surgery, Tung's Taichung MetroHarbor Hospital, Taiwan)

ISA02-02 Hounsfield unit (HU) value and its correlation with Robotic-assisted Adrenalectomy (RAA) with guidance of Indocyanine Green (ICG)

Pin-chun Liu (Division of Urology, Department of Surgery, Tung's Taichung MetroHarbor Hospital, Taiwan)

ISA02-03 Clinical analysis of the role of thyroid function in the differentiation process of spermatogonial stem cells in cryptorchid testis

Kentaro Mizuno (Department of Pediatric Urology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

ISA02-04 Relationship between the timing of orchiopexy for undescended testes and testicular hardness with Elastosonography

Yuichi Sato (Department of Urology, Fukushima Medical University school of Medicine)

ISA02-05 Clinical outcomes of genitourinary malignancies in adolescents and young adults

Ryohei Takahashi (Department of Urology, Keio University School of Medicine, Tokyo)

ISA02-06 Suprabubic Cystolithotomy—A Innovative Minimally Invasive Technique

Sanjay E Chaube (Surgery, Germany Hospital, Sipri, Jhansi, India)

ISA02-07 Single surgeon experience of excision and primary anastomosis for bulbar urethral stricture : analysis of surgical and patient-reported outcome

Kenichiro Ojima (Department of Urology, National Defense Medical College)

ISA02-08 Identification of the target molecules of testicular toxicity induced by Selective lysine specific demethylase 1 inhibitor, NCL1

Satoshi Nozaki (Department of Urology, Anjo Kosei Hospital Aichi Prefectural Welfare Federation of Agricultural Cooperatives)

ISA02-09 Longitudinal evaluation of frequency of patients taking part in sexual intercourse and sexual activity after robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy

Shogo Inoue (Department of Urology, Hiroshima University Graduate School of Biomedical Sciences)

ISA02-10 Molecular investigation of azithromycin-resistant Neisseria gonorrhoeae

Katsumi Shigemura (Department of Urology, Kobe University Hospital/Kobe University Graduate School of Health Science)

ISA02-11 The impact of androgen deprivation therapy through the peri-radiation period on the risk of bladder hemorrhage in patients undergoing external beam radiotherapy

Hiroki Ide (Department of Urology, Saiseikai Central Hospital)

ISA02-12 The K-Nearest Neighbor (k-NN) Algorithm based on Particle Swarm Optimization (PSO) to Predict Chronic Kidney Disease (CKD)

Rifaldy Fajar (Computational Biology Laboratory, Yogyakarta State University, Indonesia)

一般口演 04

12月7日(火) 13:15~14:20 第10会場

◆ 腹腔鏡下手術/腎・尿管

座長：猪口 淳一 (九州大学)

OP04-01 腹腔鏡下腎生検 10 例の検討

納谷 佳男 Yoshio Naya (長浜市立湖北病院)

OP04-02 高齢の腎癌患者に対する体腔鏡下腎部分切除術の検討

岩根 亨輔 Kyosuke Iwane (独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)

OP04-03 腹腔鏡手術を施行した腎細胞癌 pT3aN0M0 症例の検討

藤原 敦子 Atsuko Fujihara (京都府立医科大学)

OP04-04 腹腔鏡下腎尿管全摘除術における、経腹膜到達法と後腹膜到達法の違いについての検討

大年 太陽 Taiyo Otoshi (大阪市立大学)

OP04-05 上部尿路腫瘍に対する後腹膜鏡下腎尿管全摘除術+テンプレートに基づいたリンパ節郭清術の治療成績

寒野 徹 Toru Kanno (医仁会武田総合病院)

OP04-06 膽腎症を併発した尿管がんに対して、後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を施行した一例

幸 英夫 Hideo Yuki (獨協医科大学日光医療センター)

OP04-07 後腹膜アプローチの腹腔鏡下腎手術術後に腎動脈のヘモロッククリップが外れて大出血した1例

柳 雅人 Masato Yanagi (日本医科大学)

一般口演 05

12月7日(火) 14:25~15:30 第10会場

座長：星 昭夫 (筑波大学)

◆ 腹腔鏡下手術/下部尿路・他

OP05-01 腹腔鏡下副腎摘出術における MAP score の意義

神谷 直人 Naoto Kamiya (東邦大学医療センター佐倉病院)

OP05-02 腹腔鏡下前立腺全摘除術の治療成績

藤山 健太 Kenta Fujiyama (独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)

OP05-03 演題取り下げ**OP05-04 単一術者による 2-port Laparoendoscopic radical prostatectomy におけるラーニングカーブの検討**

秋田 英俊 Hidetoshi Akita (安城更生病院)

OP05-05 80歳以上の膀胱癌に対する腹腔鏡下膀胱全摘除術・回腸導管症例の検討

高田 徳容 Norikata Takada (北海道がんセンター)

OP05-06 腸骨下腹神経ブロックが鼠径部痛の緩和に有効であった、再発性鼠径ヘルニアを合併したミュラー管遺残症候群の1例

関戸 崇了 Takanori Sekito (岡山大学)

OP05-07 腹腔鏡下尿管管摘除術における Reduced Port の検討

田代 康次郎 Kojiro Tashiro (東京慈恵会医科大学)

一般ビデオ 01

12月7日(火) 15:35~16:40 第10会場

◆ ビデオセッション：腹腔鏡下手術・他

座長：金尾 健人 (埼玉医科大学国際医療センター)

VP01-01 完全腹腔鏡下腎尿管全摘除術の周術期成績と手術手技に関する考察

服部 盛也 Seiya Hattori (独立行政法人国立病院機構東京医療センター)

VP01-02 Fascia の微細構造を意識した精度を高めた手術操作—超解剖学的前立腺全摘術—

川島 清隆 Kiyotaka Kawashima (熊谷総合病院)

VP01-03 開腹根治的左腎摘除術後の同側副腎転移に対して、腹腔鏡下に左副腎転移を摘除し得た一例

坂本 勇樹 Yuki Sakamoto (国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)

VP01-04 腎移植後 chronic graft intolerance syndrome に対する腹腔鏡下移植腎摘除の経験

山崎 健史 Takeshi Yamasaki (大阪市立大学)

VP01-05 当院における T3b 腎癌に対する腹腔鏡下腎摘除術の初期経験

上野 駿 Shun Ueno (和歌山県立医科大学)

VP01-06 En-bloc TURBT/TURBO 困難症例に対する膀胱壁の層構造を維持した layer maintained TURBT の手技

岡田 洋平 Youhei Okada (埼玉医科大学総合医療センター)

International Session Award 03

December 7(Tue.), 9:10~10:05, Room11

◆ Renal tumors, urothelial tumors

Chairs : Makoto Sumitomo (Department of Urology, School of Medicine, Fujita Health University)

Hideki Enokida (Department of Urology, Graduate of School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University)

ISA03-01 A deep-learning-based system to diagnose tumor malignancy beyond classical morphological cytopathology techniques

Kazutoshi Fujita (Department of Urology, Kindai University Faculty of Medicine)

ISA03-02 Unraveling the mechanism of anti-cancer immune response associated with immune-related adverse events in patients with advanced renal cell carcinoma

Taigo Kato (Department of Urology, Osaka University Graduate School of Medicine)

ISA03-03 Multiplexed single-cell pathology reveals the association of CD8 T-cell heterogeneity with prognostic outcomes in renal cell carcinoma

Tetsushi Murakami (Department of Urology, Keio University School of Medicine/Department of Urology, Saitama City Hospital)

ISA03-04 Long non-coding RNA mediates cisplatin and gemcitabine resistance in upper tract urothelial carcinoma cells by sponging of miR-31

Wei-chi Hsu (Graduate Institute of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan/Department of Urology, School of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Taiwan/Department of Urology, Kaohsiung Medical University Hospital, Taiwan)

ISA03-05 A novel strategy for the development of bladder cancer biomarkers by proteomic analysis of urinary and tissue-exudate extracellular vesicles

Eisuke Tomiyama (Department of Urology, Osaka University Graduate School of Medicine)

ISA03-06 Risk factors of subsequent upper urinary tract carcinoma treated with intravesical bacillus Calmette-Guerin therapy for non-muscle-invasive bladder cancer

Kazuyuki Numakura (Department of Urology, Akita University Graduate School of Medicine)

ISA03-07 Sentinel lymph node concept in bladder cancer with solitary lymph node metastasis during radical cystectomy

Jun Miki (Urology, The Jikei University School of Medicine, Kashiwa Hospital)

ISA03-08 Prognostic value of hepatocyte growth factor for muscle-invasive bladder cancer

Satoshi Katayama (Department of Urology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences/Department of Urology, Medical University of Vienna)

ISA03-09 Integrated analysis of tumor immune microenvironment by automated single-cell pathology in urinary bladder cancer

Tadatsugu Anno (Urology, Keio University School of Medicine)

ISA03-10 Tumor vasculature-targeted 10B delivery by an Annexin A1-binding peptide boosts effects of boron neutron capture therapy

Tohru Yoneyama (Department of Glycotechnology, Center for Advanced Medical Research, Hirosaki University Graduate School of Medicine)

ISA03-11 Prognostic impact of radiologic infiltrative feature of primary renal tumor in metastatic renal cell carcinoma

Yoshitomo Yamaguchi (Department of Urology, Tokyo Medical And Dental University)

International Session Award 04

December 7(Tue.), 10:10~11:05, Room11

◆ Prostate cancer

Chairs : Koji Okihara (North Medical Center Kyoto Prefectural University of Medicine)

Nobuyuki Hinata (Department of Urology, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences)

ISA04-01 Prostate Cancer Classification Using Fuzzy Support Vector Machine (FSVM) -Genetic Algorithm Method

Rifaldy Fajar (Computational Biology Laboratory, Yogyakarta State University, Indonesia)

ISA04-02 Prognostic impact of different Gleason patterns in ISUP grade group 4 prostate cancer

Keiichiro Mori (Department of Urology, Medical University of Vienna, Austria/Department of Urology, The Jikei University School of Medicine)

ISA04-03 Frequency of cancer-predisposing genes in advance Japanese prostate cancer patients and their clinical implications

Hiroko Kimura (Department of Urology, Kyoto University Graduate School of Medicine)

ISA04-04 Metastatic castration-resistant prostate cancer remains dependent on oncogenic drivers found in primary tumors

Seiji Arai (Department of Urology, Gunma University Graduate School of Medicine/Division of Medical Oncology, Beth Israel Deaconess Medical Center, USA)

ISA04-05 HOXB5 overexpression is associated with neuroendocrine differentiation and poor prognosis in prostate cancer

Yohei Sekino (Department of Urology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University)

ISA04-06 The accuracy of multiparametric MRI for diagnosing prostate cancer : comparison between MRI and final pathology

Shinji Niimura (Department of Urology, Niimura Hospital)

ISA04-07 Real-world data analysis of 660 mCRPC patients treated with cabazitaxel in post market surveillance : CARD-like analysis of patient characteristics and outcome

Hideyasu Matsuyama (Deparrtment of Urology, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University)

ISA04-08 Aspalathus linearis suppresses AKT signaling, c-Myc, AR and survival of enzalutamide-resistant prostate cancer cells

Chih-pin Chuu (Institute of Cellular and System Medicine, National Health Research Institutes, Taiwan)

ISA04-09 The positive surgical margin rate is higher in Retzius sparing RARP compared to conventional RARP in anterior tumors but not in posterior tumors

Satoshi Washino (Department of Urology, Jichi Medical University Saitama Medical Center)

ISA04-10 The Urinary Phosphatidylcholine/Lysophosphatidylcholine Ratio as a Novel and Non-invasive Diagnostic Index for Prostate Cancer

Takayuki Goto (Department of Urology, Kyoto University Graduate School of Medicine)

ISA04-11 Establishment of treatment strategy for biochemical recurrence after radical prostatectomy

Kazuhiro Matsumoto (Department of Urology, Keio University School of Medicine)

EAU Lecture 1

December 7(Tue.), 13:15~13:35, Room11

Chair : Tomohiko Ichikawa (Department of Urology, Graduate School of Medicine, Chiba University)

EAU1 Effective management of male LUTS - What are the worthwhile new developments?

Christopher Chapple (Secretary General, European Association of Urology/Sheffield Teaching Hospitals NHS Foundation Trust, UK)

EAU Lecture 2

December 7(Tue.), 13:35~13:55, Room11

Chair : Masatoshi Eto (Department of Urology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

EAU2 Risk-adapted screening strategies for prostate cancer

Peter Albers (University Hospital Dusseldorf, Germany)

JUA/EAU Joint Symposium

December 7(Tue.), 15:30~17:00, Room11

Chairs : Masatoshi Eto (Department of Urology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

Peter Albers (University Hospital Dusseldorf, Germany)

JUA/EAU-1 Latest developments in retroperitoneal surgery for testicular cancer

Peter Albers (University Hospital Dusseldorf, Germany)

JUA/EAU-2 Active surveillance for early prostate cancer -PRIAS-JAPAN

Mikio Sugimoto (Department of Urology, Faculty of Medicine, Kagawa University)

JUA/EAU-3 Stress urinary incontinence - Contemporary options and the ongoing debate on synthetic slings

Christopher Chapple (Secretary General, European Association of Urology/Sheffield Teaching Hospitals NHS Foundation Trust, UK)

JUA/EAU Joint Symposium Panel Discussion

◆ What you need to know for treatment of OAB in elderly

Chairs : Satoru Takahashi (Department of Urology, Nihon University School of Medicine)

Christopher Chapple (Secretary General, European Association of Urology/Sheffield Teaching Hospitals NHS Foundation Trust, UK)

Panelist Jun Kamei (Department of Urology, Jichi Medical University School of Medicine)

Tsuyoshi Majima (Urology, Aichi Medical University)

Ken Lee (Department of Urology, Kyushu University)

総会賞ポスター 03

12月7日(火) 9:10~10:05 第12会場

座長 : 篠原 信雄 (北海道大学)

AOP03-01 de novo 脂肪酸合成によるリポワオリティ調節は腎細胞癌におけるフェロトーシス感受性を変化させる

長谷川 政徳 Masanori Hasegawa (東海大学)

AOP03-02 末期腎に発生する腎癌の発生母地はゲノム・エピゲノムプロファイルによると近位尿細管である

石原 弘喜 Hiroki Ishihara (東京女子医科大学/国立がん研究センター研究所)

AOP03-03 メンセリン陽性固体癌 PDX マウスモデルに対する IL-7/CCL19 産生型ヒト CAR-T 細胞の優れた抗腫瘍効果とそのメカニズムの検証

後藤 駿介 Shunsuke Goto (山口大学免疫学/九州大学大学院医学研究院)

AOP03-04 骨転移指向性腎癌細胞株は分泌する細胞外小胞は骨髄の血管新生を誘導し骨転移を促進する

武田 将司 Masashi Takeda (京都大学)

AOP03-05 腎がんの組織型に寄与する遺伝子が異なることを示した大規模ゲノム解析

関根 悠哉 Yuya Sekine (理化学研究所生命医科学研究センター基盤技術開発研究チーム/秋田大学大学院医学系研究科)

AOP03-06 腎細胞癌における AXL/GAS6 発現の臨床的意義とがん免疫ゲノミクス解析

箱崎 恭平 Kyohei Hakozaki (慶應義塾大学)

AOP03-07 腎癌細胞における BCL2A1 の機能解明

八木 真由 Mayu Yagi (山形大学)

AOP03-08 TFE3 高発現乳頭型腎細胞癌の臨床病理学的意義の検討

高松 大 Dai Takamatsu (九州大学)

AOP03-09 コーヒージテルペン kahweol acetate と cafestol のヒト腎細胞癌細胞に対する増殖・遊走抑制効果

牧野 友幸 Tomoyuki Makino (金沢大学泌尿器集学的治療学/石川県立中央病院)

AOP03-10 腎癌進行過程における ISYNA1 を介した myo-inositol 代謝経路の意義

胡口 智之 Tomoyuki Koguchi (福島県立医科大学)

総会賞ポスター 04

12月7日(火) 10:10~11:05 第12会場

◆ 脊腫瘍/臨床

座長 : 伊藤 明宏 (東北大学)

AOP04-01 拡散強調 MRI の radiomics 解析による脂肪成分の少ない腎血管筋脂肪腫と淡明細胞型腎細胞癌の鑑別

吉田 宗一郎 Soichiro Yoshida (東京医科歯科大学)

AOP04-02 ロボット支援下腎部分切除術は開腹腎部分切除術より良い治療法なのか~周術期成績での比較~

澤田 篤郎 Atsuro Sawada (京都大学)

AOP04-03 ロボット支援腎部分切除術における腎阻血後の再灌流が患側・健側腎に与える影響と腎予後規定因子の探索

松尾 光哲 Mitsunori Matsuo (久留米大学)

AOP04-04 淡明腎細胞癌における好酸性領域は、新生血管阻害薬や免疫チェックポイント阻害薬の奏功と関連する

吉田 崇 Takashi Yoshida (関西医科大学)

AOP04-05 次世代免疫チェックポイント分子 (LAG-3, TIM-3, TIGIT) による腎細胞がん新規分類の臨床的有用性

高松 公晴 Kimiharu Takamatsu (国際医療福祉大学三田病院/慶應義塾大学)

AOP04-06 経皮的腎凍結療法後の残存・再発に対する救済凍結療法の臨床的検討

相川 浩一 Koichi Aikawa (東京慈恵会医科大学柏病院)

AOP04-07 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イピリムマブ併用療法後の姑息的腎摘除術の臨床的検討

城武 卓 Suguru Shirotake (埼玉医科大学国際医療センター)

AOP04-08 転移性腎細胞癌患者に対するスニチニブ隔日投与の有用性および安全性の検討：長期フォローアップデータの解析

大庭 康司郎 Koujirou Ooba (長崎大学)

AOP04-09 オンデマンドクランプ RAPN における pentafecta 達成の予測因子

吉田 哲也 Tetsuya Yoshida (滋賀医科大学)

AOP04-10 埋没型腎腫瘍に対する RAPN における Resection process map の有用性と、その技術を応用した VR シミュレーションの開発

岡田 淳志 Atsushi Okada (名古屋市立大学)

一般口演 06

12月7日(火) 13:15~14:20 第12会場

◆ ロボット支援手術/前立腺腫瘍 1

座長：川端 岳 (関西労災病院)

OP06-01 外科的切除断端かつ限局性前立腺癌患者における開腹およびロボット支援根治的前立腺全摘除術後の生化学的再発率の比較

橋本 剛 Takeshi Hashimoto (東京医科大学)

OP06-02 MRI-TRUS fusion biopsy 後のロボット支援前立腺全摘除術における切除断端陽性例の臨床的検討

山崎 六志 Mutsushi Yamasaki (別府湾腎泌尿器病院)

OP06-03 RARP における切除断端陽性部位の Gleason score は術後生化学的再発の最も強い予後因子である

大橋 朋悦 Tomoyoshi Ohashi (名古屋第二赤十字病院)

OP06-04 ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の PSA 再発に関する臨床的検討

村岡 晃 Satoshi Muraoka (和歌山県立医科大学)

OP06-05 内鼠経輪温存によるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の鼠経ヘルニア予防法

宮川 友明 Tomoaki Miyagawa (自治医科大学附属さいたま医療センター)

OP06-06 ロボット支援下前立腺全摘除術(RARP)における術後鼠径ヘルニア発生リスクと patent processus vaginalis 閉鎖によるヘルニア予防効果の検討

大塚 光 Hikari Otsuka (市立大津市民病院)

OP06-07 ロボット支援前立腺全摘除術後の無症候性血栓症の評価と予測因子の検討

目黒 了 Satoru Meguro (福島県立医科大学/星総合病院)

一般口演 07

12月7日(火) 14:25~15:20 第12会場

◆ ロボット支援手術/前立腺腫瘍 2

座長：大庭 康司郎 (長崎大学)

OP07-01 ロボット支援下前立腺全摘除術における DVC 温存の尿失禁、断端陽性に与える影響

松村 善昭 Yoshiaki Matsumura (奈良県総合医療センター)

OP07-02 神経温存ロボット支援下前立腺全摘術における hydrodissection の経験

三上 穂太郎 Jotaro Mikami (東北医科薬科大学)

OP07-03 ロボット支援前立腺全摘除術におけるレチウス腔再建の影響

高田 亮 Ryo Takata (岩手医科大学)

OP07-04 術前 MRI と手術時尿道切断部位におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の尿禁制の予測因子の検討

木佐森 想司 Soshi Kisamori (富山大学)

OP07-05 広島市立安佐市民病院におけるロボット支援下前立腺全摘除術の性機能、尿禁制に関する検討
志熊 紘行 Hiroyuki Shikuma (安佐市民病院)

OP07-06 ロボット支援下前立腺全摘術後の QOL：性機能温存希望の有無があたえる影響
楠本 大樹 Hiroki Kusumoto (東北医科大学)

一般口演 08

12月7日(火) 15:25~16:20 第12会場

◆ ロボット支援手術/前立腺腫瘍 3

座長：服部 一紀 (聖路加国際病院)

OP08-01 ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術と 3D 腹腔鏡下前立腺全摘術の比較
寺田 直樹 Naoki Terada (宮崎大学)

OP08-02 演題取り下げ

OP08-03 腹膜外アプローチによるロボット支援前立腺全摘術の検討

佐藤 智 Satoshi Satou (上尾中央総合病院)

OP08-04 当院における RALP 導入後 100 例の治療成績～RRP100 例との比較～
武井 亮憲 Akinori Takei (船橋市立医療センター)

OP08-05 RARP における膀胱三角部損傷についての検討
奥野 優人 Masato Okuno (関西労災病院)

OP08-06 周術期成績と短期生存率からみた M1 前立腺癌に対する前立腺全摘除術の feasibility に関する検討
牧野 雄樹 Yuki Makino (市立大津市民病院)

一般口演 09

12月7日(火) 16:25~17:30 第12会場

◆ ロボット支援手術/前立腺腫瘍 4

座長：佐藤 文憲 (別府湾腎泌尿器病院)

OP09-01 ロボット支援下前立腺全摘除術の拡大リンパ節郭清の適応に用いるノモグラムの有用性
安部 恵樹 Satochi Abe (別府湾腎泌尿器病院)

OP09-02 前立腺癌超高リスク群に対する骨盤内リンパ節郭清におけるリンパ節陽性関連因子の検討
今村 正明 Masaaki Imamura (静岡県立総合病院)

OP09-03 ロボット支援前立腺全摘+拡大リンパ節郭清後、pN1 症例の臨床経過
吉村 一良 Ichiro Yoshimura (湘南藤沢徳洲会病院)

OP09-04 前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術+拡大リンパ節郭清におけるリンパ節転移陽性例の臨床的検討
佐野 雅之 Masayuki Sano (聖路加国際病院)

OP09-05 ハイリスク局所前立腺癌に対する uretero-hypogastric nerve fascia 展開を意識したロボット支援拡大リンパ節郭清
新保 正貴 Masaki Shimbo (聖路加国際病院)

OP09-06 当院におけるハイリスク前立腺癌に対する術前ホルモン療法後のロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の検討
森田 展代 Nobuyo Morita (金沢医科大学)

OP09-07 ロボット手術を施行した clinical T4 前立腺癌の臨床的検討
福田 譲 Mamoru Fukuda (上尾中央総合病院)

総会賞ポスター 05

12月7日(火) 9:10~10:05 第13会場

座長：大野 芳正（東京医科大学）

◆ 前立腺癌/治療

- AOP05-01** 去勢抵抗性前立腺癌に対する抗アンドロゲン交替療法の妥当性の検討：OCUU-CRPC 試験の前向き観察研究

井口 太郎 Taro Iguchi (金沢医科大学)

- AOP05-02** ロボット支援前立腺全摘除術施行後の切除断端陰性例における PSA 再燃を予測するリスクモデルの構築（多施設共同研究）

山田 雄太 Yuta Yamada (東京大学)

- AOP05-03** ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術患者に対する個別骨盤底筋トレーニングが術後尿禁制回復に及ぼす影響—単盲検無作為化比較試験—

大内 みふか Mifuka Ouchi (北海道大学)

- AOP05-04** Retzius 腔温存ロボット支援前立腺全摘術はなぜ早期尿禁制が良好か？

濱本 周造 Shuzo Hamamoto (名古屋市立大学)

- AOP05-05** 限局性前立腺癌に対する体幹部定位放射線治療において理想的な直腸線量低減効果を実現するためのハイドロゲルスペーサー挿入法の検討

小林 裕章 Hiroaki Kobayashi (済生会横浜市東部病院)

- AOP05-06** 未治療限局性前立腺癌を対象とした限局高線量率組織内照射療法 (Ultrafocal high-dose-rate brachytherapy : Ultrafocal HDR-BT) の初期経験

宮地 穎幸 Yoshiyuki Miyaji (川崎医科大学)

- AOP05-07** 局所限局性前立腺癌に対する癌標的化マイクロ波熱凝固治療—A pilot study—

井上 裕太 Yuta Inoue (京都府立医科大学)

- AOP05-08** 限局性前立腺癌に対するヨウ素 125 密封小線源治療（単独・外照射併用）とロボット支援下前立腺全摘除術における QOL の比較

中村 憲 Ken Nakamura (国立病院機構東京医療センター)

- AOP05-09** 去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドとアビラテロンの有効性に関する多施設共同前向きランダム化比較試験 (ENABLE study for PCa)

泉 浩二 Kouji Izumi (金沢大学)

- AOP05-10** 日本人の去勢抵抗性前立腺癌患者に対する PSMA 標的内用療法の治療経験

車 英俊 Hidetoshi Kuruma (馬車道さくらクリニック/セラノスティクス横浜)

総会賞ポスター 06

12月7日(火) 10:10~11:05 第13会場

座長：和田 耕一郎（島根大学）

◆ 前立腺癌/疫学・診断

- AOP06-01** 低頻度変異検出系パイプラインを用いた CRPC 患者由来 cell-free DNA 解析

水野 桂 Kei Mizuno (京都大学)

- AOP06-02** 大規模健診データ（血清 PSA 値）の解析から基礎値と velocity の検討

加藤 峰之 Mineyuki Kato (京都府立医科大学/京都中部総合医療センター)

- AOP06-03** PSA 糖鎖異性体による前立腺 significant cancer 検出予測に関する前方視的検討

小路 直 Sunao Shoji (東海大学)

- AOP06-04** 精囊浸潤を伴う局所進行性前立腺癌におけるがん微小免疫環境と予後との関連

楊井 祥典 Yoshinori Yanai (慶應義塾大学/さいたま市立病院)

- AOP06-05** PSA と TRACP 5b による予測モデルは未治療前立腺癌における骨転移診断と予後予測に有用である

山道 岳 Gaku Yamamichi (大阪大学)

- AOP06-06** 人工知能を用いた前立腺針生検組織の ISUP grade 評価コンペへの参加報告

佐藤 元己 Motoki Sato (新富士病院/立教大学大学院人工知能学科研究科)

AOP06-07 ディープニューラルネットワークを用いた前立腺癌マルチパラメトリック MRI 自動診断：多モード画像モデルの病域診断能と各撮像の診断的意義
松岡 陽 You Matsuoka (東京医科歯科大学)

AOP06-08 本邦における監視療法と根治療法の治療コスト比較—PRIAS-JAPAN study のデータより—
加藤 琢磨 Takuma Katou (香川大学)

AOP06-09 日本人における高悪性度前立腺癌に特徴的な腸内細菌叢の解析
藤田 和利 Kazutoshi Fujita (近畿大学)

一般口演 10

12月7日(火) 13:15~14:20 第13会場

◆ 前立腺腫瘍/薬物療法 1

座長：内木 拓 (名古屋市立大学)

OP10-01 転移性去勢感受性前立腺癌症例に対するアパルタミドの有効性及び安全性：国際共同第 III 相ランダム化二重盲検比較 TITAN 試験における日本人サブグループ解析最終報告
植村 天受 Hirotugu Uemura (近畿大学)

OP10-02 内分泌未治療転移性前立腺癌に対する Upfront 治療の成績—多施設共同研究—
田中 壽和 Toshikazu Tanaka (青森県立中央病院)

OP10-03 内分泌療法未治療転移性前立腺癌に対するアビラテロンとアンドロゲン遮断療法の比較
松村 直紀 Naoki Matsumura (耳原総合病院)

OP10-04 ハイリスク未治療転移性前立腺癌に対する upfront abiraterone 療法の臨床的検討
植村 公一 Koichi Uemura (横浜南共済病院)

OP10-05 転移性ホルモン感受性前立腺癌に対する upfront アビラテロンの使用成績とその後の逐次治療の報告
西 江里子 Eriko Nishi (東京慈恵会医科大学柏病院)

OP10-06 当院における mCSPC 症例の臨床検討
山本 拓 Hiraku Yamamoto (徳島大学病院/和歌山県立医科大学)

OP10-07 mHSPC のリスク分類に関する検討
下村 達也 Tatsuya Shimomura (東京慈恵会医科大学)

一般口演 11

12月7日(火) 14:25~15:10 第13会場

◆ 前立腺腫瘍/薬物療法 2

座長：加藤 真史 (名古屋大学)

OP11-01 血清テストステロン値はデガレリクス療法の無増悪生存期間の予測因子となる
木下 涼 Ryo Kinoshita (千葉大学)

OP11-02 非転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドおよびアパルタミドの効果および安全性の検討
木村 高弘 Takahiro Kimura (東京慈恵会医科大学)

OP11-03 遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 (nmCRPC) に対する PSA 倍加時間の重要性
小笠原 卓音 Takuto Ogasawara (札幌医科大学)

OP11-04 早期の PSA response は転移性去勢感受性前立腺癌 (metastatic castration-sensitive prostate cancer : mCSPC) の予後に影響を与えるか
野藤 誉亮 Seisuke Nofuji (札幌医科大学)

OP11-05 非転移性去勢抵抗性前立腺癌に対するアパルタミドの有効性及び安全性：国際共同第 III 相ランダム化二重盲検比較 SPARTAN 試験日本人サブグループ解析最終報告
上村 博司 Hiroji Uemura (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

一般口演 12

12月7日(火) 15:15~16:20 第13会場

◆ 前立腺腫瘍/薬物療法 3

座長：木村 高弘 (東京慈恵会医科大学)

OP12-01 一次 ADT 療法質的評価における CRPC 予後予測
武田 宗万 Hirokazu Takeda (公立陶生病院)

OP12-02 転移性去勢抵抗性前立腺癌（mCRPC）において1次治療新規ホルモン薬（Abiraterone/Enzalutamide）投与4week時点の早期PSA変化は治療予後予測に有効か？

内本 泰三 Taizo Uchimoto (大阪医科大学)

OP12-03 去勢抵抗性前立腺癌に対する2次治療における薬剤選択とその予後の検討

弓場 拓真 Takuma Yuba (名古屋大学)

OP12-04 mCRPCの予後因子についての検討

井上 陽介 Yousuke Inoue (広島市立広島市民病院)

OP12-05 去勢抵抗性前立腺癌に対する三次治療までの薬剤選択の検討

内藤 祐志 Yushi Naito (名古屋大学)

OP12-06 高 Gleason Score 転移性去勢抵抗性前立腺癌における予後の検討

西本 光寿 Mitsuhsisa Nishimoto (近畿大学)

OP12-07 去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）患者を対象としたAFTERCAB試験におけるエンザルタミド及びフルタミドのHealth-related (HR) QOLの推移

上村 博司 Hiroji Uemura (横浜市立大学)

一般口演 13

12月7日(火) 16:25~17:30 第13会場

◆ 前立腺腫瘍/薬物療法 4

座長：橋本 浩平 (札幌医科大学)

OP13-01 去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセル療法中の発熱性好中球減少症予防のための予防的抗菌薬投与の有用性

渡邊 佳太郎 Keitaro Watanabe (慶應義塾大学)

OP13-02 当院関連施設におけるCabazitaxelの治療成績

小林 大剛 Daigo Kobayashi (東京慈恵会医科大学)

OP13-03 去勢抵抗性前立腺癌に対するカバジタキセル療法の治療成績とサルコペニアとの関連についての検討

大西 健太 Kenta Onishi (奈良県立医科大学/星ヶ丘医療センター)

OP13-04 昭和大学病院におけるカバジタキセル療法の検討

中神 義弘 Yoshihiro Nakagami (昭和大学)

OP13-05 栄養状態やフレイルの指標であるアルブミンおよび腸腰筋指数がカバジタキセル投与開始の指標として有用

吉田 祐樹 Yuki Yoshida (竹田総合病院)

OP13-06 当院における神経内分泌分化を伴った前立腺癌の症例検討

渡邊 舟貴 Shuki Watanabe (産業医科大学)

OP13-07 前立腺癌治療中に神経内分泌変化を来たした3症例の臨床的検討

川野 将太 Shota Kawano (東京慈恵会医科大学第三病院)

総会賞ポスター 07

12月7日(火) 9:10~10:05 第14会場

◆ 尿路上皮腫瘍/基礎

座長：東 治人 (大阪医科大学)

AOP07-01 イムノグロブリンN-glycan signatureによる尿路上皮癌の診断法

小玉 寛健 Hirotake Kodama (弘前大学)

AOP07-02 Micropapillary urothelial carcinomaの分子病態解明とドラッグリポジショニング

大豆本 圭 Kei Daizumoto (徳島大学)

AOP07-03 新規がん抗原ペプチドワクチンの能動免疫と免疫チェックポイント阻害剤の併用療法によるマウス難治性がんの克服

上田 翔平 Shohei Ueda (熊本大学免疫学/九州大学病院)

AOP07-04 HLAリガンドーム解析を用いた膀胱癌 Cancer stem-like cells/Cancer initiating cells(CSCs)に発現する癌抗原の研究

宮田 遥 Haruka Miyata (北海道大学/札幌医科大学病理学第一講座)

AOP07-05 膜型分子 SIRP α を標的とした膀胱がんに対する新規抗体療法

坂本 茉莉子 Mariko Sakamoto (神戸大学/神戸大学大学院医学研究科)

AOP07-06 PHGDH を標的とした新規膀胱癌治療の可能性とその発現機構の解明

吉野 裕史 Hirofumi Yoshino (鹿児島大学)

AOP07-07 シスプラチニ耐性膀胱癌に対する自家開発ゼリー（豆乳/チーズ/ビタミンC/こんにゃく）の抗腫瘍効果、補完効果の検討

小池 秀和 Hidekazu Koike (群馬大学)

AOP07-08 FBXW7 の機能喪失は予後不良の膀胱癌患者のサブグループを特定するが、化学療法が有効な可能性がある

松元 崇 Takashi Matsumoto (九州大学先進がんゲノム検査共同研究部門)

AOP07-09 演題取り下げ**AOP07-10** 上部尿路上皮癌における周術期循環腫瘍 DNA はハイリスク症例の選定を可能にする

中野 剛佑 Kosuke Nakano (大阪大学)

総会賞ポスター 08

12月7日(火) 10:10~11:10 第14会場

◆ 尿路上皮腫瘍/臨床

座長：楳山 和秀 (横浜市立大学)

AOP08-01 産学連携で開発した尿細胞診デジタル情報の診断支援 AI

辻 恵介 Keisuke Tsuji (京都府立医科大学)

AOP08-02 中～高リスク筋層非浸潤性膀胱癌への膀胱内注入療法におけるマイトイマイシン単独とマイトイマイシンとキロサイド併用の無再発期間に関する無作為化比較試験

宮田 康好 Yasuyoshi Miyata (長崎大学)

AOP08-03 尿路上皮癌に対する新規尿中バイオマーカーとしての活性型プロテインキナーゼ C α の有用性

猪口 淳一 Junichi Inokuchi (九州大学)

AOP08-04 人工知能搭載・次世代 MRI を用いた VI-RADS の前向き検証～造影剤不適症例に対する新規診断基準の確立

田口 慧 Satoru Taguchi (杏林大学)

AOP08-05 FAN スコア (Fib-4, ALBI, NLR) は転移性尿路上皮癌に対するペムブロリズマブ治療の予後予測因子となる

河嶋 厚成 Atsunari Kawashima (大阪大学)

AOP08-06 尿路上皮癌分子サブタイプ (CK5/6, CK20, FGFR3, p53) 分類に基づいた腎盂尿管癌術後膀胱内再発および進展系統樹の作成

茂田 啓介 Keisuke Shigeta (慶應義塾大学)

AOP08-07 転移性尿路上皮癌における病勢進行後のペムブロリズマブ継続と予後の関係に関する検討

福岡屋 航 Wataru Fukuoka (東京慈恵会医科大学)

AOP08-08 上部尿路上皮癌患者における Systemic immune-inflammation index を用いたネオアジュvant 化学療法とリンパ節郭清の術前予測モデル

小林 秀一郎 Shuichiro Kobayashi (がん・感染症センター都立駒込病院)

AOP08-09 大腰筋体積の上部尿路上皮癌に対する腎尿管全摘除術後の予後予測因子としての有用性

杠 総一郎 Soichiro Yuzuriha (東海大学)

AOP08-10 膀胱がん患者における術前サルコペニアの画像的評価と膀胱全摘除術後の予後因子の検討

杉野 友亮 Yusuke Sugino (三重大学)

AOP08-11 尿臭をバイオマーカーとした膀胱癌の鑑別診断とその臭い成分の解明

水谷 陽一 Youichi Mizutani (藍野大学中央研究施設)

- AOP08-12** 免疫関連有害事象の発生は尿路上皮癌に対するペムブロリズマブの奏功と相関する：time-dependent analysis を用いた多施設共同研究
川合 剛人 Taketo Kawai (東京大学)

総会賞ポスター 09

12月7日(火) 9:10~10:05 第15会場

◆ 感染症・尿路結石症

座長：山口 聰 (医療法人仁友会北彩都病院)

- AOP09-01** 前立腺オルガノイドを用いた慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群の病態解明
北野 弘之 Hiroyuki Kitano (広島大学/広島大学病院)

- AOP09-02** 反復性膀胱炎に対する乳酸菌膣坐剤の予防効果を評価する第Ⅱ相試験
定平 卓也 Takuya Sadahira (岡山大学)

- AOP09-03** 初尿単核球比率はウイルス性尿道炎の診断に有用である
伊藤 晋 Shin Itou (あいクリニック)

- AOP09-04** 高リスク型 HPV は精子に感染し精子濃度および運動率低下に関連している
加藤 佑樹 Yuki Kato (金沢大学)

- AOP09-05** 尿路結石患者由来の iPS 細胞を用いた新規結石モデル腎オルガノイドの開発
岡田 朋記 Tomoki Okada (名古屋市立大学)

- AOP09-06** 医学と隕石学の融合による多面的構造解析を応用した尿路結石形成におけるタンパク質の機能解明
田中 勇太朗 Yutaro Tanaka (社会医療法人宏潤会大同病院)

- AOP09-07** プロリン水酸化酵素 (PHD) 阻害剤の抗炎症作用により腎結石形成が抑制される
河瀬 健吾 Kengo Kawase (さくら総合病院)

- AOP09-08** ヒト体内における褐色脂肪細胞の存在と尿路結石の関連
杉野 輝明 Teruaki Sugino (愛知県厚生農業協同組合安城更生病院/名古屋市立大学大学院医学研究科)

- AOP09-09** SGLT2 阻害薬は腎結石形成を抑制する—新規尿路結石治療薬の可能性—
阿南 剛 Go Anan (東北医科大学)

総会賞ポスター 10

12月7日(火) 10:10~11:05 第15会場

◆ 前立腺癌/基礎

座長：斎藤 誠一 (琉球大学)

- AOP10-01** 治療関連神経内分泌前立腺癌患者由来の新規細胞株 KUCaP13 の樹立とその特徴
岡所 広祐 Kosuke Okasho (京都大学/枚方公済病院)

- AOP10-02** 腸内細菌が産生する短鎖脂肪酸は IGF-1 シグナル経路を介して前立腺癌の増殖に関与する
松下 慎 Makoto Matsushita (大阪大学)

- AOP10-03** 多剤耐性去勢抵抗性前立腺癌におけるオクタマー転写因子 (OCT1) による発現調節機構の検討
大日方 大亮 Daisuke Obinata (日本大学/Monash University, Australia)

- AOP10-04** CCL2-CCR2 はアンドロゲン非依存性前立腺癌細胞のカバジタキセル耐性に関与する
加納 洋 Hiroshi Kano (金沢大学)

- AOP10-05** マクロファージに対する標的指向性を付与した磁性ナノ粒子による泌尿器系癌に対する新規癌治療法の開発に向けた基礎研究
河合 憲康 Noriyasu Kawai (名古屋市立大学)

- AOP10-06** 核内受容体 ROR γ の新規転写共役因子 ESS2 阻害は細胞周期を制御し去勢抵抗性前立腺癌の増殖を抑制する
高橋 さゆり Sayuri Takahashi (東京大学)

- AOP10-07** 去勢抵抗性前立腺癌における Cell-free DNA の有効性
久保田 優花 Yuka Kubota (弘前大学)

- AOP10-08** 難治性前立腺癌 Circulating tumor cell のトランスクリプトーム解析と薬剤スクリーニング
本郷 周 Hiroshi Hongo (練馬総合病院/慶應義塾大学)

- AOP10-09** 針生検組織を長軸方向に分割できる新しい組織分割治具のヒト前立腺針生検における有用性の実証
研究—遺伝子パネル検査への応用—
白石 匠 Takumi Shiraishi (京都府立医科大学)

総会賞ポスター 11

12月7日(火) 9:10~10:05 第16会場

◆ 排尿障害/臨床

座長：吉田 正貴 (桜十字病院・国立長寿医療研究センター)

- AOP11-01** 超音波 Real-time Tissue Elastography を用いた間質性膀胱炎患者における骨盤底筋筋硬度の検討
阿部 由依 Yui Abe (北海道科学大学保健医療学部理学療法学科/北海道大学大学院医学院)

- AOP11-02** 人工知能によるハンナ型間質性膀胱炎の内視鏡診断支援システムの開発
岩城 拓弥 Takuya Iwaki (国立国際医療研究センター病院)

- AOP11-03** 尿中微量アルブミンは過活動膀胱の症状増悪の独立した指標である
小島 由太 Yuta Kojima (弘前大学)

- AOP11-04** 睡眠障害認知行動療法を施行した高齢 Male LUTS 患者における夜間頻尿改善効果
—PRO および排尿日誌 data の解析—
永江 浩史 Hiroshi Nagae (ながえ前立腺ケアクリニック)

- AOP11-05** 男性喫煙者の早期の禁煙は夜間頻尿の増悪阻止因子である
伊藤 将也 Masaya Ito (がん・感染症センター都立駒込病院)

- AOP11-06** 尿道括約筋—尿道支持機構の解剖学的・機能的評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁メカニズムの解明-MRI および尿道内圧測定を用いた検討—
片岡 政雄 Masao Kataoka (福島県立医科大学)

- AOP11-07** 外傷性尿道狭窄に対する初回尿道形成不成功例の救済手術：外科的治療成績と患者報告アウトカムの検討
田部井 正 Tadashi Tabei (横浜市立市民病院)

- AOP11-08** 前立腺癌に対する高密度焦点式超音波療法を用いた Focal therapy の排尿機能に対する影響：
前向き臨床研究による経時の解析
花田 いずみ Izumi Hanada (東海大学)

- AOP11-09** 二分脊椎症患者の腎瘢痕の実態-ガイドラインに準拠した管理で腎瘢痕は防げるか?
下木原 航太 Kota Shimokihara (神奈川県立こども医療センター)

総会賞ポスター 12

12月7日(火) 10:10~11:05 第16会場

◆ 排尿障害/基礎

座長：石塚 修 (信州大学)

- AOP12-01** シリコン成分剤は加齢に伴う腎の酸化ストレスを軽減しマウスの夜間多尿を改善させる新規治療法となりうる
関井 洋輔 Yosuke Sekii (大阪大学)

- AOP12-02** 脊髄損傷マウスの排尿筋過活動は膀胱 PDGFR α 陽性細胞減少が関与する
李 賢 Ken Lee (九州大学)

- AOP12-03** 前立腺肥大症の重症化に伴う線維化過程における活性化補体経路のシフトチェンジ
秦 淳也 Junya Hata (福島県立医科大学)

- AOP12-04** 脂肪由来幹細胞シートを用いたラット排尿筋低活動モデルにおける治療効果の検討
寺岡 祥吾 Shogo Teraoka (鳥取大学)

- AOP12-05** 光化学反応 Photothrombosis を用いた限局性脳梗塞モデルの作成と前帯状皮質による排尿制御機能の解明
太田 裕也 Yuya Ota (JA 三重厚生連三重北医療センターいなべ総合病院/名古屋市立大学大学院医学研究科)

- AOP12-06** 慢性的な交感神経緊張状態が誘発する下部尿路障害に対するテアニンの予防効果
松岡 香菜子 Kanako Matsuoka (太田西ノ内病院)

- AOP12-07** 排尿筋低活動発症における重度の高血圧の関与とアンジオテンシンIIタイプ1受容体拮抗薬口サルタンによる予防効果の検討
清水 翔吾 Shogo Shimizu (高知大学薬理学講座)

- AOP12-08** 頻尿モデルマウスへの光遺伝学的治療の可能性
志村 寛史 Hiroshi Shimura (山梨大学)

- AOP12-09** 高精度 HLA タイピング技術(HLA imputation)によるハンナ型間質性膀胱炎の疾患ゲノム関連解析
秋山 佳之 Yoshiyuki Akiyama (東京大学)

一般口演 14

12月7日(火) 13:15~14:20 第16会場

◆ 腎腫瘍/基礎・診断・マーカー

座長：近藤 恒徳 (東京女子医科大学東医療センター)

- OP14-01** 腫瘍微小環境が腎細胞癌に与えるパラクライン効果の解明
永瀬 圭 Kei Nagase (佐賀大学)

- OP14-02** Xp11.2 転座型腎細胞癌における低酸素応答と代謝経路攪乱による発がんメカニズムの解明
西澤 秀和 Hidekazu Nishizawa (熊本大学/熊本大学国際先端医学研究機構)

- OP14-03** 外科的治療を行った腎腫瘍における良性腫瘍の検討
関戸 翔 Sho Sekito (愛知県がんセンター)

- OP14-04** 当院における経皮的腎腫瘍生検に関する臨床的検討
岡本 真里愛 Maria Okamoto (東京慈恵会医科大学柏病院)

- OP14-05** 術前画像における腎腫瘍の形状不整の意義：cT1-2 腎細胞癌 478 例における検討
福田 翔平 Shohei Fukuda (東京医科歯科大学)

- OP14-06** 手術療法を行った淡明型腎細胞癌における C 反応性蛋白の予後因子としての意義：腎癌研究会多施設共同研究による検討
中山 哲成 Akinori Nakayama (獨協医科大学埼玉医療センター)

- OP14-07** 国内第 1/2 相試験 ZIRDAC-JP 試験 第 1 相試験パート
中井川 昇 Noboru Nakaigawa (横浜市立大学)

一般口演 15

12月7日(火) 14:25~15:10 第16会場

◆ 腎腫瘍/症例

座長：中井 康友 (大阪国際がんセンター)

- OP15-01** 複数回の転移切除で画像的 CR となった腎細胞癌の 2 例
三好 秀明 Hideaki Miyoshi (防衛医科大学校)

- OP15-02** Fumarate hydratase 欠損腎癌の 1 例
米瀬 一朗 Ichiro Yonese (都立駒込病院)

- OP15-03** リンパ節転移を認めた粘液管状紡錘細胞癌の 1 例
高橋 美香 Mika Takahashi (佐賀大学)

- OP15-04** 肉腫様腎癌に対し術後二次治療でニボルマブが奏功した 1 例
大塚 崇史 Takashi Otsuka (町田市民病院)

- OP15-05** 当院における小径腎癌に対する定位照射の治療成績と予後因子の解析
川崎 芳英 Yoshihide Kawasaki (東北大学)

一般口演 16

12月7日(火) 15:15~16:20 第16会場

◆ 腎腫瘍/手術（腹腔鏡・ロボットをのぞく）1

座長：山田 幸央 (帝京大学)

- OP16-01** cT1 限局性腎細胞癌における pT3a アップグレードの検討
石山 亮 Ryo Ishiyama (東京女子医科大学)

- OP16-02** 腎部分切除術後の腎容積の変化は腎機能の変化と関連するか?
明円 真吾 Shingo Myoen (宮城県立がんセンター)

OP16-03 単腎症例に対する無阻血腎部分切除の成績

范 博 Bo Fan (東京医科大学)

OP16-04 ドップラー超音波検査は腎部分切除後早期仮性動脈瘤を検出できるか

濱田 晃佑 Kosuke Hamada (がん研有明病院)

OP16-05 大阪大学医学部附属病院における小径腎癌に対する CT ガイド下凍結療法の治療成績

氏家 剛 Takeshi Ujike (大阪大学)

OP16-06 当院における小径腎腫瘍に対する経皮的凍結療法の治療成績

蓼沼 知之 Tomoyuki Tatenuma (横浜市立大学)

OP16-07 慢性腎臓病患者における腎部分切除後腎機能および腎実質体積の経時的推移

田中 一 Hajime Tanaka (東京医科大学)

一般口演 17

12月7日(火) 16:25~17:30 第16会場

◆ 腎腫瘍/手術 (腹腔鏡・ロボットをのぞく) 2

座長 : 榎本 裕 (三井記念病院)

OP17-01 当科で経験した腎細胞癌晚期再発例の検討

杉野 謙司 Kenji Sugino (岡山労災病院)

OP17-02 演題取り下げ**OP17-03 転移性腎癌に対する原発巣摘除の有効性の検討**

北島 和樹 Kazuki Kitajima (北里大学)

OP17-04 右房内腫瘍塞栓を伴う局所進行腎細胞癌に対する手術治療成績と循環停止法が及ぼす影響についての検討

石山 雄大 Yudai Ishiyama (東京女子医科大学東医療センター)

OP17-05 進行性腎細胞癌の転移病巣切除術の意義について

川田 望 Nozomu Kawata (日本大学駿河台病院)

OP17-06 腎癌に対する腎部分切除術における腫瘍被膜損傷の検討

相澤 翔吾 Shogo Aizawa (北海道がんセンター)

OP17-07 分子標的薬および免疫チェックポイント阻害薬時代における転移性腎細胞癌に対する不完全転移巣切除術 incomplete metastasectomy の効果に関する検討

小針 悠希 Yuki Kobari (東京女子医科大学)

総会賞ポスター 13

12月7日(火) 9:10~10:05 第17会場

◆ 腎不全・腎移植

座長 : 中川 健 (東京歯科大学市川総合病院)

AOP13-01 発生期腎臓の成熟段階を判定する遺伝子群の同定

長沼 英和 Hidekazu Naganuma (九州大学/熊本大学発生医学研究所)

AOP13-02 シリコン製剤は腸内細菌叢の変化を惹起し慢性腎不全の増悪を抑制する

今村 亮一 Ryoichi Imamura (大阪大学)

AOP13-03 末期腎不全患者に発生した腎癌の網羅的ゲノム解析

前川 滋克 Shigekatsu Maekawa (岩手医科大学)

AOP13-04 血液透析クリニック通院中の患者 1 例に COVID-19 発症するも二次感染を防止し得た事例 : 学会指針に従った日常の感染防御対策の有用性

兵藤 透 Toru Hyodo (医療法人財団倉田会えいじんクリニック)

AOP13-05 アジア諸国へのバスキュラーアクセス領域における海外支援活動

長沼 俊秀 Toshihide Naganuma (大阪市立大学/NPO 法人いつでもどこでも血液浄化インターナショナル)

- AOP13-06** リアルタイムイメージングを用いた腎虚血再灌流後生体マウス腎における好中球動態のタダラフィル投与による変化
丸山 雄樹 Yuki Maruyama (岡山大学)

- AOP13-07** 腎移植における慢性活動性抗体関連型拒絶反応早期診断のための混合リンパ球反応試験の開発
岩原 直也 Naoya Iwahara (北海道大学)

- AOP13-08** エベロリムスによる移植腎間質線維化の抑制効果の検討
斎藤 拓郎 Takuro Saito (秋田大学)

- AOP13-09** LESS+1 ドナー腎採取術における気腹時間及び温阻血時間に影響する因子の検討
新田 正広 Masahiro Nitta (東海大学)

総会賞ポスター 14

12月7日(火) 10:10~11:05 第17会場

◆ 副腎・後腹膜・精巣腫瘍

座長：釜井 隆男 (獨協医科大学)

- AOP14-01** 肝浸潤を伴う転移性副腎腫瘍に対して肝合併切除を伴う体腔鏡下副腎摘除術を行った3例
松井 喜之 Yoshiyuki Matsui (国立がん研究センター中央病院)

- AOP14-02** コルチゾール産生腺腫における CTNNB1 の新規構造異常と変異に基づく分子分類
藤井 陽一 Yoichi Fujii (東京大学/京都大学大学院腫瘍生物学講座)

- AOP14-03** 褐色細胞腫切除後の持続血糖モニタリング：前向き観察研究
上原 翔 Sho Uehara (東京医科歯科大学)

- AOP14-04** 腫瘍径で腹腔鏡下副腎摘除術の難易度は上がるか—単一術者による検討—
市川 孝治 Takaharu Ichikawa (独立行政法人国立病院機構岡山医療センター)

- AOP14-05** 鼠径部精索肉腫の病態および適切な治療法についての systematic review
神谷 黎 Rei Kamitani (慶應義塾大学/伊勢原協同病院)

- AOP14-06** 精巣がんサバイバーにおける EORTC QLQ-TC26 日本語版を用いた性機能評価：多施設共同横断研究
小山 淳太朗 Juntaro Koyama (東北大学)

一般口演 18

12月7日(火) 13:15~14:10 第17会場

◆ 尿路上皮腫瘍/基礎

座長：齊藤 亮一 (関西医科大学)

- OP18-01** 膀胱癌易罹患性に対する職業・環境因子を調整したゲノムワイド関連解析
武内 巧 Takumi Takeuchi (労働者健康安全機構関東労災病院)

- OP18-02** 上部尿路上皮癌における HHLA2 (B7-H7) 発現と臨床的/病理学的因子との関連
西原 大策 Daisaku Nishihara (獨協医科大学)

- OP18-03** 新規ピルビン酸脱水素酵素キナーゼ 4 (PDK4) 阻害剤クリプトタンシノンの β カテニンを介したヒト膀胱癌細胞での細胞浸潤能抑制作用
金 哲將 Chul Jang Kim (公立甲賀病院)

- OP18-04** 膀胱癌における血清および病理組織での Epiplakin 発現の検討
志村 壮一朗 Soichiro Shimura (北里大学)

- OP18-05** マウスの Meth A 繊維肉腫細胞に対する BCG 療法の効果の検証とその機序の解明について
能見 勇人 Hayahito Nomi (大阪医科大学血液净化センター/大阪医科大学)

- OP18-06** オミックス解析に基づく GGCT 発現阻害による抗腫瘍メカニズムの解明と膀胱癌治療への応用
窪田 成寿 Shigehisa Kubota (滋賀医科大学)

一般口演 19

12月7日(火) 14:15~15:00 第17会場

◆ 腎孟・尿管腫瘍/臨床 1

座長：安部 崇重（北海道大学）

- OP19-01** 限局性上部尿路上皮癌診断における、tumor grade、tumor stage による予測モデルの臨床的有用性の検討
片山 晃 Satoshi Katayama (岡山大学/ウィーン医科大学)

- OP19-02** 肉眼的血尿は腎孟尿管癌に対する腎尿管全摘除術後の膀胱内再発を予測する因子となるか?
西川 涼馬 Ryoma Nishikawa (鳥取県立中央病院)

- OP19-03** 上部尿路上皮癌における赤血球容積度数分布幅 (RDW) の測定意義
伊丹 祥隆 Yoshitaka Itami (奈良県総合医療センター)

- OP19-04** 上部尿路上皮癌における Nectin-4 および PD-L1 発現の臨床的検討
富山 栄輔 Eisuke Tomiyama (大阪大学)

- OP19-05** CT テクスチャー解析を用いた筋層浸潤上部尿路上皮癌診断と HMGB1 に誘導される腫瘍関連マクロファージの浸潤、腫瘍内微小環境の評価
後藤 景介 Keisuke Gotou (広島大学)

一般口演 20

12月7日(火) 15:05~15:50 第17会場

◆ 腎孟・尿管腫瘍/臨床 2

座長：米山 高弘（弘前大学）

- OP20-01** 腎尿管全摘除術症例における histological variant の意義と予後予測因子の解析
武本 健士郎 Kenshiro Takemoto (広島大学/県立広島病院)

- OP20-02** 単発尿管癌の部位別の臨床的検討
塚田 光 Hikaru Tsukada (聖マリアンナ医科大学)

- OP20-03** 腎尿管全摘後の周術期合併症と術後制癌率に関する検討
吉富 香澄 Kasumi Yoshitomi (がん研究会有明病院)

- OP20-04** 転移性腎孟・尿管癌と転移性膀胱癌の予後の比較
安富 正悟 Shogo Adomi (近畿大学)

- OP20-05** Systemic immune inflammation index kinetics は進行尿路上皮癌におけるペンブロリズマブの予後予測因子である
飯田 典之 Noriyuki Iida (がん・感染症センター都立駒込病院)

一般口演 21

12月7日(火) 15:55~16:40 第17会場

◆ 腎孟・尿管腫瘍/臨床 3

座長：小島 崇宏（愛知県がんセンター）

- OP21-01** 尿管癌における腎温存尿管部分摘除術の検討
那須 良次 Yoshitsugu Nasu (岡山労災病院)

- OP21-02** 所属リンパ節転移を有する尿路上皮癌に対する手術治療の検討
吉川 和朗 Kazurou Kikkawa (和歌山県立医科大学)

- OP21-03** 乳房外パジェット病を呈した膀胱腫瘍の一例
山本 修太郎 Shutaro Yamamoto (東京慈恵会医科大学)

- OP21-04** 尿路上皮癌術直後に心タンポナーデとなり癌性心膜炎と診断された 1 例の自然経過
村上 幹和 Motokazu Murakami (市立八幡浜総合病院)

- OP21-05** 都立駒込病院における上部尿路上皮癌に対する腎尿管全摘除の在院日数の動向
関谷 健 Ken Sekiya (がん・感染症センター都立駒込病院)

一般ポスター 01

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場1

◆ 腎腫瘍/薬物療法 1

座長：吉野 能（国立病院機構名古屋医療センター）

- PP01-01** ロボット支援腎部分切除後の局所再発・ポート再発にニボルマブが著効した 1 例
成田 知弥 Tomoya Narita (刈谷豊田総合病院)

PP01-02 当院における進行性腎細胞癌に対する Avelumab 及び Axitinib 併用療法の初期投与経験

稻毛 達朗 Tatsuro Inage (水戸赤十字病院)

PP01-03 免疫チェックポイント阻害薬を投与中に腫瘍栓による肺塞栓にて死亡した 1 症例

吉澤 賢祐 Kensuke Yoshizawa (豊橋市民病院)

PP01-04 エベロリムス休薬中に腎出血を認めた結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫の 1 例-当院での結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫に対するエベロリムス治療症例の検討

関根 芳岳 Yoshitaka Sekine (群馬大学)

PP01-05 転移性腎癌治療に対してニボルマブ-イピリブマブ併用療法 (N-I 療法) の有効性と安全性の検討

得居 範子 Noriko Tokui (大館市立総合病院)

PP01-06 進行性腎細胞癌において癌悪液質がニボルマブの治療効果に及ぼす影響についての検討

井上 直紀 Naoki Inoue (東京医科歯科大学/とりで総合医療センター)

PP01-07 京都府立医大における進行性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害剤とアキシチニブ併用療法の使用経験

鳴川 司 Tsukasa Narukawa (京都府立医科大学)

PP01-08 Germline HLA-B*15 : 01 は転移性腎細胞癌の免疫チェックポイント阻害薬治療有害事象頻度に関連する

高橋 修平 Shuhei Takahashi (秋田大学)

PP01-09 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の有用性及び安全性の検討

飯沼 光司 Koji Iinuma (岐阜大学)

PP01-10 腎癌患者におけるペムブロリズマブ、アキシチニブ併用療法の当院での使用経験

赤井 太郎 Taro Akai (いわき市医療センター)

一般ポスター 02

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場1

座長：森田 順 (昭和大学)

◆ 腎腫瘍/薬物療法 2**PP02-01** 当院における転移性腎細胞癌に対する Nivolumab 療法の使用成績の検討

牧 克樹 Kazuki Maki (関東労災病院)

PP02-02 転移性腎細胞癌に対して術前免疫療法を行った症例の検討

小早川 祐輝 Yuki Kobayakawa (名古屋市立大学)

PP02-03 免疫チェックポイント阻害剤の安全性について

高島 靖 Yasushi Takashima (天理よろづ相談所病院)

PP02-04 当院における転移性腎細胞癌に対するニボルマブの使用経験

小野原 聰 Tadashi Onohara (東京女子医科大学八千代医療センター)

PP02-05 当院における転移性腎癌に対するニボルマブの治療効果の検討

佐藤 穀 Takeshi Sato (山梨大学)

PP02-06 Nivolumab monotherapy 時代の進行性腎細胞癌治療成績

石橋 裕香里 Yukari Ishibashi (横浜市立大学)

PP02-07 当院における進行性腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の使用経験

早川 啓太 Keita Hayakawa (近江八幡市立総合医療センター)

PP02-08 当科における転移性腎細胞癌患者に対するニボルマブの有効性と安全性についての検討

飯村 翼 Tsubasa Iimura (筑波大学)

PP02-09 ニボルマブを使用した腎細胞癌患者の予後と骨格筋量との関連についての検討

植木 秀登 Hideto Ueki (神戸大学)

PP02-10 転移性腎細胞がんに対するニボルマブ治療における予後予測因子としての Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI) の有用性の検討

藤原 遼 Ryo Fujiwara (がん研有明病院)

PP02-11 癌免疫療法後に腎摘除術を施行した症例における予後の検討

露久保 敬嗣 Takashi Tsuyukubo (岩手医科大学/岩手県立中央病院)

一般ポスター 03

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場1

◆ 腎腫瘍/薬物療法 3

座長：近藤 千絵 (国立がん研究センター東病院)

PP03-01 杏林大学における転移性腎細胞癌に対する cabozantinib の初期使用経験

中村 雄 Yu Nakamura (杏林大学)

PP03-02 自施設における腎癌薬物療法の治療成績

清水 信明 Nobuaki Shimizu (群馬県立がんセンター)

PP03-03 全身療法を施行した有転移腎癌症例における腎機能低下とその予測因子に関する検討

大竹 航太郎 Kotaro Otake (山形大学)

PP03-04 当院における進行性腎癌に対するカボザンチニブの初期投与経験

佐野 貴紀 Takanori Sano (神戸大学)

PP03-05 転移性腎細胞癌に対する Cabozantinib の初期使用経験

上野 彰久 Akihisa Ueno (大阪府済生会吹田病院)

PP03-06 当院における転移性腎細胞癌に対するカボザンチニブの初期治療経験

堀内 大介 Daisuke Horiuchi (京都府立医科大学)

PP03-07 当院における転移性腎細胞癌に対するカボザンチニブの初期使用経験

福永 博之 Hiroyuki Fukunaga (県立尼崎総合医療センター)

PP03-08 演題取り下げ**PP03-09** 熊本大学病院における進行性腎細胞癌に対するカボザンチニブ投与の初期経験

元島 崇信 Takanobu Motoshima (熊本大学)

PP03-10 神戸大学における転移性腎癌に対するアキシチニブ rechallenge の治療成績

白石 祐介 Yusuke Shiraishi (神戸大学)

PP03-11 転移性腎癌に対するパゾパニブの血中濃度測定の有用性

草場 拓人 Takuto Kusaba (滋賀医科大学)

一般ポスター 04

12月7日(火) 16:15~17:10 ポスター会場1

◆ 腎腫瘍/薬物療法 4

座長：佐塙 智和 (千葉大学)

PP04-01 当院における進行性腎細胞癌に対するイピリムマブ・ニボルマブ併用療法の初期経験

大村 美波 Minami Oomura (独立行政法人国立病院機構埼玉病院/慶應義塾大学)

PP04-02 イピリムマブ・ニボルマブ併用療法により好中球減少症と間質性肺炎を発症した腎癌患者の1例

水谷 一夫 Kazuo Mizutani (鎌ヶ谷総合病院)

PP04-03 転移性腎細胞癌に対する一次治療としてニボルマブ+イピリムマブとチロシンキナーゼ阻害剤の比較検討：後方視的多施設共同研究

野呂 大輔 Daisuke Noro (むつ総合病院)

PP04-04 神戸大学における転移性腎細胞癌に対するイピリムマブ・ニボルマブ併用療法の治療成績

古川 順也 Junya Furukawa (神戸大学)

PP04-05 当院での進行腎癌に対する Nivolumab Ipilimumab 併用療法の初期経験

宮川 拓朗 Takuro Miyagawa (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)

PP04-06 進行性腎癌に対するイピリムマブ・ニボルマブ併用療法の初期治療成績

清田 翔 Sho Kiyota (関西医科大学総合医療センター)

PP04-07 当院における切除不能または転移性腎細胞癌に対するニボルマブ、イピリムマブ併用療法の使用経験

江原 伸 Shin Ebara (広島市立広島市民病院)

PP04-08 当院および関連施設での転移性腎細胞がんに対する Ipilimumab と Nivolumab による 2 剤併用療法の治療成績

矢田 侑史 Yuji Yata (東京慈恵会医科大学)

PP04-09 当院における進行性腎癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の初期使用経験

清水 貴大 Takahiro Shimizu (千葉県済生会習志野病院)

PP04-10 進行性腎癌に対するイピリムマブ・ニボルマブ併用療法の検討

多賀 英人 Hideto Taga (京都府立医科大学)

PP04-11 ニボルマブ+イピリムマブ併用療法を行った進行性腎細胞癌における病態進行予測因子の検討

川瀬 真 Makoto Kawase (岐阜大学/大垣市民病院)

一般ポスター 05

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場2

◆ 膀胱腫瘍/診断・マーカー

座長: 小杉 道男 (川崎市立井田病院)

PP05-01 根治的膀胱全摘除術後の長期予後予測モデル

大津 晃 Akira Ohtsu (群馬大学)

PP05-02 筋層浸潤膀胱癌の治療選択における定量的フレイル評価の有用性 (FRART-BC study)

岩村 大径 Hiromichi Iwamura (弘前大学)

PP05-03 尿中 cell-free DNA の膀胱癌新規バイオマーカーとしての臨床的有用性の検討

林 裕次郎 Yujirō Hayashi (大阪大学/大阪急性期・総合医療センター)

PP05-04 膀胱癌患者における DJ-1 発現の病理組織学的検討

平野 修平 Shuhei Hirano (北里大学)

PP05-05 傾向スコアマッチング法を使用した、筋層非浸潤性膀胱癌における初回再発のリスクの同定と検証

加藤 陽一郎 Youichirou Katou (岩手医科大学)

PP05-06 隆起性病変のない尿細胞診異常患者の追跡調査

池内 亮介 Ryosuke Ikeuchi (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)

PP05-07 尿細胞診による術前膀胱癌亜型予測についての検討

三神 晃 Hikaru Mikami (日本医科大学)

一般ポスター 06

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場2

◆ 膀胱腫瘍/薬物療法 1

座長: 影山 幸雄 (埼玉県立がんセンター)

PP06-01 中/高リスク筋層非浸潤性膀胱がんに対する BCG 膀胱内注入療法の治療効果について

佐藤 琢磨 Takuma Satou (東北大学/京都大学医学部附属病院)

PP06-02 筋層非浸潤性膀胱癌に対する BCG 膀胱注入療法後に生じた反応性関節炎と膀胱内再発の関係

菲塚 あす実 Asumi Nirazuka (獨協医科大学埼玉医療センター)

PP06-03 当院における根治的膀胱摘除術における術前化学療法の検討

佐久間 貴文 Takafumi Sakuma (岡山医療センター)

PP06-04 尿路上皮癌に対する化学療法の検討

奥野 佑美子 Yumiko Okuno (関東労災病院)

PP06-05 当院における筋層浸潤性膀胱癌に対する術前 dose-dense MVAC 療法の初期経験例

錦見 礼央 Reo Nishikimi (東京大学)

PP06-06 当施設における筋層浸潤性膀胱癌に対する術前 ddMVAC 療法の治療成績

大川 瑞穂 Mizuho Ohkawa (東邦大学医療センター大森病院)

PP06-07 転移性尿路上皮癌における 1st line 化学療法の治療成績

深谷 友祐 Yusuke Fukatani (徳島大学)

PP06-08 プラチナ抵抗性尿路上皮癌に対する PG 療法の有用性

原田 みりい Mirii Harada (産業医科大学)

PP06-09 一次化学療法奏効後に化学療法を継続した進行性尿路上皮癌患者における予後因子の検討

演田 彰弘 Akihiro Hamada (京都大学)

PP06-10 転移性尿路上皮癌 pembrolizumab 療法における前治療化学療法と予後の検討

遠藤 勇気 Yuki Endo (日本医科大学)

一般ポスター 07

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場2

◆ 膀胱腫瘍/薬物療法 2

座長：河原 崇司 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

PP07-01 当院における尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の治療成績

米森 雅也 Masaya Yonemori (鹿児島市立病院)

PP07-02 当院における進行性尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の治療成績

奥村 太輔 Taisuke Okumura (帝京大学溝口病院)

PP07-03 当院における転移性尿路上皮癌に対する pembrolizumab 投与症例の臨床的検討

小林 郁生 Ikuo Kobayashi (愛知医科大学)

PP07-04 京都府立医科大学附属病院における転移性尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の使用経験

中村 雄一 Yuichi Nakamura (京都府立医科大学)

PP07-05 ペムブロリズマブ療法で Complete response を達成した症例の臨床的検討

～山形県ペムブロリズマブ使用実態調査データベースから～

成澤 貴史 Takafumi Narisawa (山形大学)

PP07-06 当院における進行尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の使用経験

根本 侑樹 Yuki Nemoto (済生会川口総合病院)

PP07-07 当院における転移性尿路上皮癌に対するペムブロリズマブ療法の治療成績

村蒔 基次 Mototsugu Muramaki (兵庫県立尼崎総合医療センター)

PP07-08 当院における尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の使用経験

金子 智之 Tomoyuki Kaneko (帝京大学)

PP07-09 当院における尿路上皮癌に対するペムブロリズマブの使用経験

萩原 和久 Kazuhisa Hagiwara (上尾中央総合病院)

PP07-10 当院における尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の使用経験

小西 鼓 Tsuzumi Konishi (自治医科大学附属さいたま医療センター)

一般ポスター 08

12月7日(火) 16:15~17:10 ポスター会場2

◆ 膀胱腫瘍/症例

座長：島居 徹 (茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター)

PP08-01 BCG 膀胱内注入療法後の膀胱穿孔後に発症した BCG による胸膜炎、腹膜炎の 1 例

坂田 宏行 Hiroyuki Sakata (神戸市立医療センター西市民病院)

PP08-02 尿路上皮癌術後の転移に対し Pembrolizumab が奏功した 2 例

井内 裕満 Hiromichi Iuchi (恵み野病院)

PP08-03 膀胱神経内分泌癌の 1 例

水戸 康平 Kohei Mito (自治医科大学附属さいたま医療センター)

PP08-04 カルボプラチナ、エトポシド、アテゾリズマブ併用による化学療法にて完全奏功を得た膀胱神経内分泌癌の 1 例

神谷 黎 Rei Kamitani (伊勢原協同病院)

PP08-05 当院における膀胱 nephrogenic adenoma の臨床的検討

舛田 一樹 Kazuki Masuda (杏林大学)

PP08-06 膀胱癌の梨状筋転移に対する集学的治療が奏功した 1 例

高橋 健太 Kenta Takahashi (岩手県立久慈病院/岩手医科大学)

PP08-07 膀胱原発炎症性筋線維芽細胞腫瘍の1例

澤田 達宏 Tatsuhiro Sawada (群馬大学)

PP08-08 TUR-BT 後9年で精巣転移を来たした膀胱癌の一例

関根 啓太 Keita Sekine (帝京大学ちば総合医療センター)

PP08-09 限局性前立腺癌に対する brachytherapy 後膀胱癌発症例の検討

南 高文 Takafumi Minami (近畿大学)

PP08-10 当院における80歳以上の筋層浸潤性膀胱がん治療の実態

酒井 康之 Yasuyuki Sakai (土浦協同病院)

PP08-11 膀胱癌下肢末節骨転移の1例

田中 幹人 Mikito Tanaka (姫路赤十字病院)

一般ポスター 09

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場3

◆ 膀胱腫瘍/手術 (腹腔鏡・ロボットをのぞく)

座長: 池田 洋 (北九州総合病院)

PP09-01 膀胱再発を反復事象として解析した場合の5-アミノレブリン酸使用蛍光膀胱鏡補助下経尿道的腫瘍切除術の意義

西村 伸隆 Nobutaka Nishimura (大和高田市立病院)

PP09-02 5-アミノレブリン酸を用いた光力学診断併用TURBTの初期治療経験

馬場 雅人 Masato Baba (滋賀医科大学)

PP09-03 2nd TURBTに5-アミノレブリン酸による光線力学診断(ALA-PDD)を使用することは膀胱癌の再発を抑制するか

富山 奈美 Nami Tomiyama (海南病院)

PP09-04 当院におけるアミノレブリン酸塩酸塩内服患者における経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)時の術中低血圧の検討

巣山 貴仁 Takahito Suyama (帝京大学ちば総合医療センター)

PP09-05 当院における5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた光力学診断(PDD)併用経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)の初期成績

平岡 正義 Masayoshi Hiraoka (山梨大学)

PP09-06 従来の白色光によるTURBTとPDD-TURBTの比較検討

宍戸 俊英 Toshihide Shishido (東京医科大学)

PP09-07 当院におけるPDD-TURBT導入後の2nd TUR治療成績の検討とPDD-2nd TURの取り組み

新井 隆之 Takayuki Arai (千葉大学)

PP09-08 熊本医療センターにおけるアミノレブリン酸を用いた光力学診断(PDD)補助下TUR-BTの初期経験

前田 喜寛 Yoshihiro Maeda (国立病院機構熊本医療センター)

一般ポスター 10

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場3

◆ 膀胱腫瘍/手術 (腹腔鏡・ロボットをのぞく)・尿路変向

座長: 山本 真也 ((財)癌研究会有明病院)

PP10-01 当院におけるsecond TURの臨床的検討

宇都宮 紀明 Noriaki Utsunomiya (西神戸医療センター)

PP10-02 当院における筋層非浸潤性膀胱癌に対する2nd TURBTの臨床的検討

蓮見 勝 Masaru Hasumi (群馬県立がんセンター)

PP10-03 非筋層浸潤性膀胱癌の治療歴は根治的膀胱全摘術の予後予測因子となるか

栃木 宏介 Kosuke Tochigi (市立四日市病院)

PP10-04 膀胱全摘除術の治療成績—高齢者にたいする安全性—

田邊 健児 Kenji Tanabe (国立がん研究センター東病院)

PP10-05 筋層浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘除術後の尿路変更術の選択とフレイルの関係について

沖田 和貴 Kazutaka Okita (弘前大学)

PP10-06 サルコペニアは膀胱全摘術後の予後予測因子である

中田 渡 Wataru Nakata (大阪労災病院)

PP10-07 回腸導管造設術後の傍ストーマヘルニアの検討

奈良 健平 Taketoshi Nara (秋田大学)

PP10-08 当院における根治的膀胱全摘除術後の尿路変向についての検討

鶴田 将史 Masafumi Tsuruta (倉敷中央病院)

一般ポスター 11

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場3

◆ 泌尿器腫瘍全般

座長：三神 一哉 (京都第一赤十字病院)

PP11-01 泌尿器癌における原発巣免疫組織染色に基づく腫瘍内免疫応答(Cancer immunohistogram)解析

木島 敏樹 Toshiki Kijima (獨協医科大学)

PP11-02 サルコペニアは転移性腎癌に対する免疫療法の予後予測因子である

辻村 剛 Go Tsujimura (大阪労災病院)

PP11-03 pT1a 腎癌の術後再発に関する臨床的検討

松川 卓生 Takuo Matsukawa (産業医科大学)

PP11-04 転移性尿路上皮癌に対する 2 次治療としての Pembrolizumab 導入例における予後因子の検討

佐藤 亮 Ryo Sato (浜松医科大学)

PP11-05 当院での進行性尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の治療成績

池田 舞子 Maiko Ikeda (横浜南共済病院)

PP11-06 Pembrolizumab を導入した進行尿路上皮癌症例に対する QOL に関する検討

竹村 紗奈 Ayana Takemura (浜松医療センター)

PP11-07 尿路上皮癌に対する major 手術における静脈血栓塞栓症のリスクの検討

山田 龍治 Ryuji Yamada (聖マリアンナ医科大学)

PP11-08 進行性尿路扁平上皮癌に対する Gemcitabine, Nedaplatin 併用化学療法の有用性の検討

藪崎 亮 Ryo Yabusaki (静岡県立総合病院)

PP11-09 5-アミノレブリン酸を使用した TURBT 術後再発率の検討

天野 史子 Fumiko Amano (県立大船渡病院)

PP11-10 後腹膜肉腫における臨床病理学的因素と PD-L1、PD-L2、PD-1 発現の統合的評価

小田 侑希 Yuki Oda (奈良県立医科大学)

PP11-11 当院における副腎皮質進行がんの検討

金本 一洋 Kazuhiro Kanemoto (安城更生病院)

一般ポスター 12

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場4

◆ 前立腺腫瘍/基礎 1

座長：本田 真理子 (東京慈恵会医科大学)

PP12-01 マウス PTEN 欠失前立腺癌に対する JAK1/2 標的療法が腸内細菌叢に与える影響について

橋本 士 Mamoru Hashimoto (近畿大学)

PP12-02 オートファジーに着目したスタチンの前立腺癌に対する抗腫瘍効果についての研究

宮澤 慶行 Yoshiyuki Miyazawa (群馬大学)

PP12-03 前立腺癌特異的長鎖ノンコーディング RNA-PCA3 の機能解明

伊藤 紗弥 Saya Ito (京都府立医科大学)

PP12-04 CDK12KO 前立腺癌細胞株は増殖能の低下を示す

上山 裕樹 Yuuki Kamiyama (京都大学)

PP12-05 去勢抵抗性前立腺癌移植マウスモデル由来オルガノイドの樹立

砂田 拓郎 Takuro Sunada (京都大学)

PP12-06 アルキル化剤を修飾した pyrrole-imidazole (PI) ポリアミドの前立腺癌細胞に対する抗腫瘍効果の検討

船越 大吾 Daigo Funakoshi (日本大学板橋病院)

PP12-07 異種間遺伝子発現解析から免疫療法のための免疫表現型解析への応用

坂野 恵里 Eri Banno (近畿大学)

PP12-08 前立腺癌骨転移微小環境における活性化破骨細胞由来細胞外小胞の役割

田村 貴明 Takaaki Tamura (東京医科大学医学総合研究所分子細胞治療研究部門/千葉大学大学院医学研究院)

一般ポスター 13

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場4

◆ 前立腺腫瘍/基礎 2

座長:林 哲太郎 (広島大学)

PP13-01 2種の免疫応答性マウスモデルにおける飽和脂肪酸が前立腺癌発症・進展に及ぼす影響

佐藤 博美 Hiromi Sato (秋田大学)

PP13-02 前立腺癌細胞におけるアミノ酸トランスポーター LAT3 の機能解析及び下流シグナルの同定

梨井 隼菱 Junryo Rii (千葉大学)

PP13-03 前立腺癌の去勢抵抗性獲得後の代謝変化について

金坂 学斗 Manato Kanesaka (千葉大学/千葉大学大学院医学研究院)

PP13-04 Darolutamide と statin の併用による去勢抵抗性前立腺癌細胞増殖抑制効果の解明 (第2報)

中山 紘史 Hiroshi Nakayama (群馬大学)

PP13-05 前立腺癌細胞株におけるスタチン投与後の BRCA1 関連遺伝子の発現変化の解析及び、スタチン投与による X線及び重粒子線治療効果への影響

岡 大祐 Daisuke Oka (群馬大学)

PP13-06 前立腺癌の診断における血清テストステロン値の意義

吉田 剛大 Takahiro Yoshida (帝京大学)

PP13-07 限局性前立腺癌における腫瘍体積の予後に与える影響の検討

馬場 晴喜 Haruki Baba (千葉大学)

PP13-08 前立腺癌温熱療法における HIKESHI の役割の検証

永井 隆 Takashi Nagai (名古屋市立大学)

PP13-09 前立腺癌細胞における 5-アミノレブリン酸による光線力学的治療の治療効果予測因子としての ABCG2 トランスポーターの発現評価

山本 新九郎 Shinkuro Yamamoto (高知大学)

一般ポスター 14

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場4

◆ 前立腺腫瘍/手術 (腹腔鏡・ロボットをのぞく)

座長:立神 勝則 (北九州市立医療センター)

PP14-01 前立腺癌における腫瘍体積 0.5cm³未満患者における Significant Cancer の検討

竹下 暢重 Nobuhige Takeshita (千葉大学)

PP14-02 転移性前立腺癌に対するネオアジュバントホルモン療法併用前立腺全摘術 81 例の検討

今野 将人 Masato Konno (山形県立中央病院)

PP14-04 当院における前立腺全摘徐術の治療成績

定兼 伊吹 Ibuki Sadakane (東京慈恵会医科大学)

PP14-05 前立腺癌の精囊および精囊周囲浸潤様式の病理組織学的検討

三好 邦和 Kunikazu Miyoshi (国立病院機構九州医療センター)

PP14-06 前立腺癌定位照射 (サイバーナイフ治療) における前橋赤十字病院での SpaceOAR の初期経験

藤塚 雄司 Yuji Fujizuka (前橋赤十字病院)

一般ポスター 15

◆ 前立腺腫瘍/症例

12月7日(火) 16:15~17:10 ポスター会場4

座長：三塚 浩二 (東北大学)

PP15-01 前立腺癌術後膀胱尿道吻合部直腸瘻に対する薄筋弁を用いた瘻孔閉鎖術

荒木 千裕 Kazuhiro Araki (京都市立総合医療センター)

PP15-02 囊胞形成を伴う前立腺癌の4例

山口 貴大 Takahiro Yamaguchi (倉敷中央病院)

PP15-03 演題取り下げ**PP15-04 急激な病勢悪化がみられた未分化な前立腺癌に対してドセタキセル療法後にオラパリブを投与した一例**

青盛 恒太 Kota Aomori (横浜市立大学)

PP15-05 前立腺癌肝転移に対しラジオ波焼灼術 (RFA) により転移巣制御を得た2例

日野 大地 Daichi Hino (JCHO 東京新宿メディカルセンター)

PP15-06 9年の経過をとどめた治療前 PSA が超高値の前立腺癌の1例

中尾 孝子 Takako Nakao (なかおかこクリニック)

PP15-07 診断、治療に苦慮した癌性髄膜炎の1例

須田 遼祐 Ryosuke Suda (富士吉田市立病院)

PP15-08 軀幹部拡散強調 MRI 画像で評価した前立腺癌多発骨転移の一例

本田 聰 Satoshi Honda (島根大学総合医療学講座大田総合医育成センター/大田市立病院)

PP15-09 前立腺癌骨転移に対するゾレドロン酸長期投与が原因と考えられる両側非定型大腿骨骨折の症例

武島 仁 Hitoshi Takeshima (龍ヶ崎済生会病院)

PP15-10 Radium-223 による内照射治療後に高度貧血と汎血球減少をきたした前立腺癌の1例

山田 成幸 Shigeyuki Yamada (東北公済病院)

一般ポスター 16

◆ 女性泌尿器科 1

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場5

座長：横山 みなと (東京医科歯科大学)

PP16-01 健診機関を受診した健常女性の腹圧性尿失禁の実態調査とリスク因子

石井 雅子 Masako Ishii (にしくまもと病院/日本赤十字社熊本健康管理センター)

PP16-02 CT による骨格筋面積測定を用いた骨盤臓器脱術後の腹圧性尿失禁の予測

濱川 隆 Takashi Hamakawa (名古屋市立大学附属西部医療センター)

PP16-03 骨盤臓器脱 (POP) 手術と尿失禁の検討

樋口 知見 Tomomi Higuchi (岩手県立胆沢病院)

PP16-04 当科における骨盤臓器脱手術後1年の成績

濱本 孔越 Koetsu Hamamoto (防衛医科大学校)

PP16-05 当院における日本製 PTFE メッシュ (ORIHIME) を用いたTVM手術の初期治療成績と工夫

藤井 泰普 Yasuhiro Fujii (社会医療法人宏潤会大同病院)

PP16-06 骨盤臓器脱患者における内臓脂肪面積と過活動膀胱症状の関連性

松山 奈有佳 Nayuka Matsuyama (名古屋市立大学)

PP16-07 TVT手術19年後に発症したテープ感染の一例

渡部 智文 Tomofumi Watanabe (岡山大学)

PP16-08 頻尿を主訴に受診した膀胱子宮内膜症の2例

井上 雅 Miyabi Inoue (みやびウロギネクリニック)

一般ポスター 17**◆ 女性泌尿器科 2**

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場5

座長：黒田 健司 (防衛医科大学校)

PP17-01 骨盤臓器脱に対する LSC 術前後における下部尿路症状と尿流動態検査の推移

柳澤 良三 Ryozo Yanagisawa (明理会中央総合病院)

PP17-02 岡山中央病院における腹腔鏡下仙骨腔固定術 (Laparoscopic sacral colpopexy : LSC) の術後中期成績報告

小林 知子 Tomoko Kobayashi (岡山中央病院)

PP17-03 ロボット支援仙骨腔固定術と腹腔鏡下仙骨腔固定術およびメッシュの種類が尿失禁・過活動膀胱に与える影響について

馬場 優人 Yuto Baba (済生会横浜市東部病院)

PP17-04 LSC を経ずに導入したロボット補助下仙骨腔固定術の初期成績

大槻 英男 Hideo Ootsuki (我孫子東邦病院)

PP17-05 KKR 高松病院における腹腔鏡下仙骨腔固定術の成績

平間 裕美 Hiromi Hirama (KKR 高松病院)

PP17-06 当院でのロボット支援腹腔鏡下仙骨腔固定術の初期経験の検討

斎藤 友充子 Yumiko Saito (京都府立医科大学)

PP17-07 蛍光尿管カテーテルを用いた腹腔鏡下仙骨腔固定術 (LSC) の検討

松隈 悠 Haruka Matsukuma (山口大学)

PP17-08 高度水腎症を合併する骨盤臓器脱患者の検討

吉尾 裕子 Yuuko Yoshio (三重大学)

一般ポスター 18

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場5

座長：和田 直樹 (旭川医科大学)

PP18-01 前蒂状皮質 (ACC) から派生する大脳排尿経路の探索

望月 孝規 Takanori Mochizuki (山梨大学)

PP18-02 FIB/SEM (集束イオンビーム) を用いたマウス前立腺間質細胞の 3D 微細構造解析

川口 義弘 Yoshihiro Kawaguchi (済生会二日市病院)

PP18-03 糖尿病モデルラットにおける冷えストレス排尿筋過活動に対する β 3 受容体アゴニストと抗コリン薬の併用効果の検討

原 寛彰 Hiroaki Hara (信州大学)

PP18-04 前立腺針生検組織における慢性炎症反応と男性下部尿路症状

島袋 智之 Tomoyuki Shimabukuro (宇部興産中央病院/山口大学大学院医学系研究科)

PP18-05 当院における排尿ケアチームの立ち上げと初期の活動状況

和久 夏衣 Natsui Waku (独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター)

PP18-06 当院における外来排尿自立指導の臨床的検討

山本 恒代 Yasuyo Yamamoto (徳島大学)

PP18-07 神経因性膀胱患者における間欠式バルーンカテーテルの使用経験

鮎瀬 知彦 Tomohiko Aigase (神奈川リハビリテーション病院)

PP18-08 総合内科セッティングにおける排尿自立指導管理

吉田 健志 Kenji Yoshida (健生会土庫病院総合診療科)

PP18-09 当院における尿道拡張術後の尿道カテーテル留置期間の検討

坂田 裕介 Yusuke Sakata (国際医療福祉大学熱海病院)

一般ポスター 19

◆ 排尿機能・神経泌尿器科/臨床

12月7日(火) 16:15~17:10 ポスター会場5

座長：吉村 耕治（静岡県立総合病院）

PP19-01 二分脊椎患者の ADL 低下症例における長期排尿管理の検討

川守田 直樹 Naoki Kawamorita（東北大学）

PP19-02 福岡大学筑紫病院における過活動膀胱と転倒・骨折の検討

宮島 茂郎 Shigerou Miyajima（福岡大学筑紫病院）

PP19-03 当科におけるミニリンメルトの初期治療経験と副作用出現時の投与の工夫

安岡 正太郎 Shotaro Yasuoka（虎の門病院）

PP19-04 膀胱留置カテーテル使用患者のカテーテル閉塞と膀胱洗浄

鈴木 良輔 Ryosuke Suzuki（沼津市立病院）

PP19-05 閉経後女性の過活動膀胱に対するミラベグロンおよびビベグロンの有効性 OABSS、IPSS、KHQによる無作為比較試験

佐藤 広高 Hirotaka Sato（医療法人社団北水会記念病院）

PP19-06 過活動膀胱に対するビベグロンの有効性の検討

矢野 敏史 Toshifumi Yano（坂出市立病院）

PP19-07 当院における難治性過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法の初期経験

朴 聖一 Sung Il Park（橋本市民病院）

PP19-08 精神緊張、不眠を伴う夜間頻尿に対し桂枝加竜骨牡蠣湯が奏功した 1 症例

松本 裕子 Yuko Matsumoto（三宅会グッドライフ病院）

PP19-09 当科における人工尿道括約筋埋め込み術の成績と排尿関連 QOL に与える影響に関する検討

谷口 久哲 Hisanori Taniguchi（関西医科大学）

一般ポスター 20

◆ 上部尿路/通過障害・機能

12月7日(火) 13:15~14:10 ポスター会場6

座長：早川 望（聖マリアンナ医科大学）

PP20-01 傍腎孟囊胞による水腎症との診断に至るまでに困難を要した一例

荒川 夢香 Yumeka Arakawa（岩手医科大学）

PP20-02 右 CIA～EIA 動脈バイパス術中に尿管損傷し術後尿瘻形成・尿管狭窄を来たした CIC 患者の 1 例

井門 祐一郎 Yuichiro Ikado（松本協立病院）

PP20-03 当科における尿管再建術の臨床的特徴と術後成績

宮内 琴菜 Kotona Miyauchi（旭川医科大学）

PP20-04 演題取り下げ**PP20-05 当院における尿管拡張術後尿管ステント double stenting の経験**

森山 郁美 Ikumi Moriyama（済生会川口総合病院）

PP20-06 悪性尿管閉塞に対する尿管ステント留置不可能症例に関する予測因子の検討

岡 優 Suguru Oka（虎の門病院）

PP20-07 長野赤十字病院における尿管ステント留置背景についての検討～新型コロナウイルス感染症流行前後での比較～

鈴木 智敬 Chihiro Suzuki（長野赤十字病院）

一般ポスター 21

◆ 陰嚢内容・陰茎・尿道

12月7日(火) 14:15~15:10 ポスター会場6

座長：佐藤 全伯（防衛医科大学校）

PP21-01 尿道原発悪性黒色腫の一例

浜本 幸浩 Yukihiro Hamamoto（松波総合病院）

PP21-02 尿道悪性腫瘍が疑われた尿道肉芽腫の1例

眞弓 翔三朗 Shozaburo Mayumi (自治医科大学附属さいたま医療センター)

PP21-03 陰茎原発悪性リンパ腫の1例

富田 光 Hikaru Tomita (医療法人社団善衆会善衆会病院)

PP21-04 精巣区域梗塞に対して保存的加療を選択した1例

田端 勇作 Yusaku Tabata (鈴鹿中央総合病院)

PP21-05 精巣腫瘍と鑑別が困難だった精巣区域梗塞の1例

井熊 俊介 Shunsuke Ikuma (日本医科大学)

PP21-06 鼠径部に発生した富細胞性血管線維腫の1例

服部 慎一 Shinichi Hattori (すずかけセントラル病院)

PP21-07 昭和大学病院における尿道腫瘍の検討

天野 悟志 Satoshi Amano (昭和大学)

PP21-08 手術を行った急性陰嚢症の臨床的検討

杉田 智 Satosi Sugita (鹿児島市立病院)

PP21-09 形成性陰茎硬化症 (Peyronie病) における重症化予測因子の検討

吉村 巖 Itsuki Yoshimura (帝京大学)

一般ポスター 22

12月7日(火) 15:15~16:10 ポスター会場6

◆ 最新機器・外傷・他

座長：井上 幸治 (倉敷中央病院)

PP22-01 腎梗塞を伴う右腎動脈解離の一例

加藤 洋人 Hiroto Katou (帝京ちはば総合医療センター)

PP22-02 外傷性腎損傷 22例に基づく積極的治療を要する症例の考察

坂田 卓弥 Takuya Sakata (JA 愛知厚生連海南病院)

PP22-03 悪性腫瘍による尿管閉塞 (MUO) に対するチューマーステントの使用経験

小林 幸太 Kota Kobayashi (国際親善総合病院)

PP22-04 金属製尿管ステントの長期留置に伴う合併症として腸管損傷を起こした2例

福田 輝雄 Teruo Fukuda (神戸大学)

PP22-05 複数回経尿道的凝固術を要した難治性放射線性膀胱炎の3症例

村橋 範浩 Norihiro Murahashi (札幌北辰病院)

PP22-06 膀胱全摘除術における膀胱下腹筋膜の意義とその3Dソフトでの描画

徳地 弘 Hiromu Tokuchi (八幡中央病院)

PP22-07 生体分解性亜鉛マグネシウム合金の開発及び、尿路手術での使用の検討

岡村 泰義 Yasuyoshi Okamura (神戸大学)

PP22-08 小児の尿道損傷の1例

土井 啓介 Keisuke Doi (国立病院機構岩国医療センター)

PP22-09 鈎針法の変法を用い透視下に尿管ステント引き抜きを実施した男性症例の一例

三宅 範明 Noriaki Miyake (厚生連屋島総合病院)

PP22-10 膀胱異物（大根）の一例

古屋 良太 Ryota Furuya (市立甲府病院)

一般ポスター 23

12月7日(火) 16:15~17:10 ポスター会場6

◆ 統計・経済・疫学・再生医療

座長：坂野 恵里 (近畿大学)

PP23-01 COVID-19 感染症による神戸大学医学部附属病院泌尿器科の診療への影響

前田 光毅 Koki Maeda (神戸大学)

PP23-02 コロナ禍における泌尿器科クリニックのオンライン診療

古平 喜一郎 Kiichirou Kodaira (こだいら泌尿器科)

PP23-03 インスリン抵抗性に着目した尿路結石の発症リスクと身体活動がおよぼす影響

安藤 亮介 Ryosuke Ando (三重北医療センターいなべ総合病院/名古屋市立大学大学院医学研究科)

PP23-04 尿路結石研究における腎盂粘膜組織の遺伝子発現解析データクオリティコントロール法の検討

茶谷 亮輔 Ryosuke Chaya (名古屋市立大学)

PP23-05 限局性前立腺癌におけるワイル分布解析を用いた術後経過観察期間の推定

山田 鴻一郎 Koichiro Yamada (東海大学)

PP23-06 放射線照射傷害膀胱に対する積層型骨髄由来細胞シートによる膀胱拡大術の試み

井上 貴浩 Yoshihiro Inoue (信州大学)

PP23-07 ラット腎凍結傷害モデルを用いた積層型デュアル間葉系幹細胞シート移植効果の検討

北原 遼 Ryo Kitahara (信州大学)

PP23-08 略号変換を用いた電子カルテの機械速記法

大石 悠一郎 Yuichiro Oishi (苦小牧市立病院)

PP23-09 当院における泌尿器がんゲノム検査の実施状況とその転帰

倉橋 竜磨 Ryoma Kurahashi (熊本大学)